

# 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

## 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

### 1. 評価の概要

本報告書は、科学技術振興機構の地域研究開発促進拠点支援（通称RSP：Regional Science Promotion Program）事業（研究成果育成型）について、科学技術振興機構に設置された地域振興事業評価委員会によって行われた評価結果である。

評価等の具体的内容は以下のとおりである。

### 2. 事業の概要

#### (1) 目的・趣旨

「地域の限られた科学技術資源を有効に活用して研究開発を行うためには、その触媒役というべき優れたコーディネータの存在が不可欠である。コーディネータの役割は、優れた研究シーズとニーズの発掘・結合、優秀な人材の確保、適切な研究チームの組織、資金の調達等多岐にわたる。コーディネータにはこれら高い能力が求められ、地域はこうした優れた人材の育成・確保に努める必要がある。」

本事業は、上記の科学技術会議第22号答申を受け、地域のニーズをふまえた地域内外の人材をコーディネータとして育成しながら、コーディネータ機能の充実を図る地方公共団体の取り組みを支援し、文部科学省や科学技術振興機構等の諸制度を効果的に活用しつつ、地域における科学技術振興と新技術・新産業の創出を図ることを目的に、平成11年度から開始された。

本事業においては、各地域における独創的新技術による新規事業の創出に資するため、地域研究開発促進拠点支援事業（ネットワーク構築型）等で地域に既に整備されている産学官のネットワークを活用して、大学等との連携強化のための拠点を形成するとともに、各地域における大学等の研究成果を育成し、実用化につなげるための体制整備の促進を図ることを目的としている。

本事業の終了後は、地域に形成されたコーディネータ機能を都道府県が継承し、地域における科学技術の振興と地域経済の活性化、生活の質の向上、知的資産の拡充等に向けた活動が展開されることを期待している。

#### (2) 事業概要

- i) 都道府県からの申込を受け、文部科学省が本事業を実施する都道府県及び地域研究開発促進拠点（連携拠点機関：地域における科学技術振興のための財団等）を選定。（平成13年度より科学技術振興機構による選定に変更）
- ii) 科学技術振興機構は、連携拠点機関に対し科学技術コーディネータを委嘱。  
科学技術コーディネータは次の事業メニューを行う。
  - ① 大学等の研究成果の調査と情報の整理
  - ② 企業ニーズの調査と情報の整理
  - ③ 大学等の研究成果の実用化の可能性評価

- ④ 企業ニーズを踏まえた研究成果育成計画の作成と育成試験の実施
- ⑤ 技術移転関連の諸事業への橋渡し
- ⑥ 他地域との交流・業務連携

### (3) 事業費

1 地域当たり年間 7.0 千万円程度（人件費含）

### (4) 事業実施期間

5 年間（原則）

[目次に戻る](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

# 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

## 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

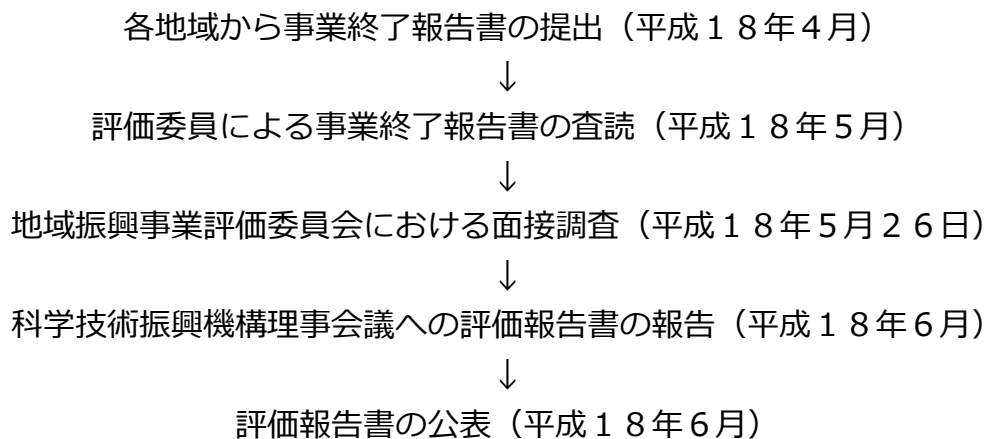
### 3. 評価実施方法

本評価は、科学技術振興機構の地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業（研究成果育成型）について、平成13年度に事業を開始し、平成17年度に終了した4地域を対象として、科学技術振興機構に設置された地域振興事業評価委員会によって行われた事後評価である。評価結果は、地域から提出された事業終了報告書および平成18年度第1回地域振興事業評価委員会（平成18年5月26日開催）において行われた面接調査結果にもとづき、とりまとめたものである。

評価の観点は、次のとおりである。

- ① 大学等との連携状況
- ② 事業の成果及び波及効果
- ③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績
- ④ 今後の展開の見通し

#### <評価のプロセス>



[目次に戻る](#)

# 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

## 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

### 4. 地域ごとの評価

#### (1) 群馬県

連携拠点機関	： 財団法人群馬県産業支援機構
科学技術コーディネータ	： 関 春夫（代表）、磯部 稔、大山 健一、小和田 雅明
事業実施期間	： 平成13年度～平成17年度

##### ① 大学等との連携状況

産学官の信頼関係を確立する努力により企業ニーズを抽出し、日本原子力研究開発機構高崎研究所や中小企業を巻き込む多くの産学官連携活動を立ち上げ、製品化に至る実績をあげたことや、今回のRSP事業において大学間のネットワークが形成され、金融や経営支援も県単位でネットワークに組み込んだことは評価出来る。コーディネータが、企業との連携を引き続き強化して、特徴ある大学の研究者と直接コンタクト出来るパイプをより一層充実させることが望まれる。

##### ② 事業の成果及び波及効果

本事業で行った育成試験の結果、平成17年度からの地域結集型研究開発プログラムへ発展し、新たな産学官連携プロジェクトが開始されたことは大きな波及効果として認められる。また、「領域別分科会」を組織して多くの地元企業を参加させ、ニーズとシーズのマッチング活動を積極的に進めることにより、医療バイオ領域や情報通信領域のクラスター形成に見られるような計画的な研究成果の育成が見られ、実用化や人材交流などにも実績をあげている。今後も優れた論文、学会発表から商品化につながるような研究成果が得られる取組みの継続を期待したい。

##### ③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績

61件の育成試験に対して、実用化34件、商品化9件、起業化2件の成果はコーディネータの積極的な活動の結果である。リニアモデルに基づく「ものづくり立県ぐんま」の施策を補完するため、コーディネータによるきめ細かなフィードバックの努力が行われ、地元中堅企業と協力した実用化の実績も少なくない。一方で、諸事業への橋渡し件数が25件と十分ではなく、成果の広がりという点では不安が残る。今後は実用化、企業化の出口戦略や、商品化の規模を明確にした取組を進め、県単独事業設立等による県の支援も含めて、他事業への橋渡しをなお盛んにすることが求められる。また、領域分科会間の交流がますます盛んに行われることと、80件の特許出願のフォローアップにも期待したい。

##### ④ 今後の見通し

財団法人群馬県産業支援機構が拠点機関となり、コーディネータ協議会を組織化し、県単独予算でコーディネータを確保して県内の産学官連携を進める等、コーディネータを重視する姿勢は評価できるが、新たなシーズの育成を継続し、諸事業への橋渡しをさらに増やす等、広範な発展につなげるために県が今まで以上に尽力していくことが求められる。また、

企業ニーズの把握や、大学等の研究者との太くて多様なパイプ作り等の活動を強力に推進するため、新たなコーディネータの確保・育成も必要である。

## ⑤ 総合評価

情報通信、新素材、医療・バイオ、環境・生活文化、新製造技術の5つの領域分科会を組織して、特徴あるコーディネート活動を進めたことにより、産学連携活動が活発に行われ、実用化、商品化の成果を生んだと言える。しかし、コーディネータと企業や大学との信頼関係を一層強化するための新たなコーディネータの確保・育成や、コーディネート活動を発展させる受け皿体制の構築に向け、今後県として具体的な戦略の推進が求められる。

## (2) 三重県

連携拠点 機関	: 財団法人三重県産業支援センター
科学技術コーディネータ	: 野田 宏行 (代表)、中野 昭彦、 勝永 智也 (平成15年9月~平成16年3月)、阿部 量一 (平成15年4月~平成18年3月)
事業実施 期間	: 平成13年度~平成17年度

### ① 大学等との連携状況

組織間連携、具体的活動計画などに配慮しつつ事業を推進し、三重大学を中心とした大学との連携、専門部会や課題協議会などを通じた中小企業との連携及び異分野間連携へと実を結んだことは評価できる。今後は産業直結型の成果を目指すだけでなく、応用研究の中から基礎研究のシーズを発掘する等、コーディネート活動の幅を広げることにより、新たな連携関係を構築する試みも今後取り入れて行くことが望ましい。

### ② 事業の成果及び波及効果

育成試験課題50件には、三重県の特徴を生かした食品及び工学系の研究などに重点化がなされる等、地域技術の活性化が考慮されており、本事業の活動が今後の県単独事業において参考となる一つのモデルを提供できたという点で評価できる。また、特許出願62件(うち国際特許出願4件)は育成試験件数よりも多く評価できるが、企業ニーズ調査は必ずしも多くないので、今後は企業ニーズの把握強化に期待したい。

### ③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績

研究成果の実用化件数が29件、商品化件数が15件と多くの実績をあげ、中でも「血液流動性測定装置」や「生活習慣病の予防に効果のある「黒ニンニク」」など販売実績の高い商品が生まれていることは評価できる。諸事業等への橋渡し件数も64件であり、積極的なコーディネート活動が行われていると言える。ただし、個々の研究成果に関してはやや規模が小さく、小粒といった感があるので、橋渡しを受けた次の事業で応用範囲を広げ、大規模な実用化展開を目指していくことを期待する。

### ④ 今後の見通し

科学技術支援施策として「地域産学官研究交流事業」を三重県科学技術振興センターで実施する一方で、産業技術支援施策として「競争的研究プロジェクト戦略推進事業」や「地域中小企業産学官連携促進研究開発事業」を三重県産業支援センターで展開し、本事業を2つの県独自のセクターで継続していこうとする体制作りは期待がもてる。今後、個々の成果をつなげる大局的な構想の下に将来の展開像を打ち出すとともに、それを実現するために不可欠なコーディネータの育成にも引き続き取り組んで行くことが望まれる。

## ⑤ 総合評価

代表科学技術コーディネータの努力により期待以上の成果を得ている。一つのフィロソフィーをもって、大学人の意識改革を促し、産学官共同を徹底させた功績も大きい。中間評価における「地域の特性が活かされておらず、全体の基本構想・政策が見えない」、「商品

化といった具体的成果は十分と言えない」という指摘事項を真摯に受け止め、それを克服すべく十分な取り組みが行われたと言える。今後も引き続きコーディネータの育成に力を入れ、積極的な活動を展開していくことを期待する。

### (3) 高知県

連携拠点 機関	: 財団法人高知県産業振興センター
科学技術コーディネータ	: 笹部 馨 (代表)、都築 俊夫、久武 陸夫、石塚 悟史 (平成13年7月~平成16年3月)、入野 和朗 (平成17年4月~平成17年9月)
事業実施 期間	: 平成13年度~平成17年度

#### ① 大学等との連携状況

コーディネート活動の対象となる大学や研究機関は多くはないが、その分高知大学と高知工科大学を中心に密度の濃い連携体制を構築した点は高く評価でき、大学側の十分な協力と信頼関係は今後の財産となることが期待される。シーズ発掘とマッチングの努力が顕著であり、大学等の情報を効率的に実用化に結びつけている点は、連携の成果と考えられる。また、連携拠点機関以外の多くのコーディネータとの連携も積極的に行われている。

#### ② 事業の成果及び波及効果

シーズ発掘1,600件は十分な成果である。県内の産学連携の活発化、研究者ネットワーク及び新技術データベースの構築、研究者に対する権利化意識の醸成、若手コーディネータの育成などメリハリの利いた価値ある成果と効果が得られており、高い評価に値する。特に、若手コーディネータの育成は特徴的である。

「育成試験成果集」の刊行など成果の積極的PR姿勢にも見るべきものがあるが、コーディネート活動の波及効果をより広範囲に広げるためにも、今後は、更なる企業ニーズの探索と地域企業の育成に向けた取り組みに期待したい。

#### ③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績

水産庁事業やJST事業などに発展した成果や、売上がまだ少ないものの起業化にたどり着いた成功例があるなど、興味ある実績が出ており、妥当な成果であると認められる。起業したプロジェクトには、本格的な企業化にはなお長期間を要するものもあるので、今後も継続した支援に期待する。

成果集の刊行や、情報をホームページに掲載することは有意義かつ効果的であり、今後はさらにコーディネータが技術内容をブレイクダウンし、受け手である企業にとって分かりやすい情報提供を行っていくことも重要である。

#### ④ 今後の見通し

本事業推進の経過と結果に勢いが見られ、事業修了に合わせて新設された高知COE推進本部によるコーディネート活動は、JSTサテライト高知の開館ともあいまって、事業継続に向けた魅力的な姿として見ることができ、県の積極的な姿勢も感じられる。今後に向けては、育成された若手コーディネータのミッションの明確化や県内企業による事業化などが課題であり、本事業の継続を引き続き県の重要施策として位置づけていくことが必要である。

#### ⑤ 総合評価

大学等の研究機関や企業が少ないといった必ずしもポテンシャルが高いとは言えない土地柄にあって、代表科学技術コーディネータのリーダーシップの下、高知大学、高知工科大学との密度の濃い連携により数多くのシーズを掘り起こしてきた。研究成果の活用に向けた育成試験の実施に当たっては、ニーズオリエンテッドの考え方に基づいて的確な課題抽出を行った結果、実用化の実績も認められるなど、高知県でRSP事業を実施した価値は高かったと言える。今後は、県のバックアップによる高知COE推進本部を中心とした取り組みと

#### (4) 熊本県

連携拠点機関	: くまもとテクノ産業財団
科学技術コーディネータ	: 草野 民三（代表）、坂井 高正、坂田 敦子、山口 淑久（平成17年3月まで）
事業実施期間	: 平成13年度～平成17年度

##### ① 大学等との連携状況

熊本大学、崇城大学、熊本県立大学等の多数の大学と連携を試みることからスタートし、その結果として熊本大との連携が十分に深いものとなったことはコーディネータの努力の成果と言える。しかし、熊本大以外の大学との連携活動は、もう一つ成果につながっていないため、今後は原因を検証した上での改善が必要である。

熊本TLOと連携してコーディネート活動を行ったことは大きな特徴であり、大学側に産学連携の意義を知らしめたことは重要な成果と言える。

##### ② 事業の成果及び波及効果

一つの技術課題を数年かけて育てていくというユニークな方針のもと、多くのシーズを他事業への橋渡し段階あるいは共同研究企業の探索段階というレベルまで引き上げたことは評価できる。今後は、それらのシーズを最終的な出口である商品化に結びつけるための努力が必要であり、そのためには県が中心となり、県単独の地域施策等への展開により、企業を巻き込んでいくことを期待する。

##### ③ 研究成果の実用化・企業化の状況及び諸事業等への橋渡し実績

コーディネータの地道な活動の様子が窺え、他事業へ積極的に応募した結果としての橋渡し件数37件は、事業終了時点の実績としては妥当であり、57件の特許出願も十分な数字である。しかしながら、実用化・商品化・起業化の数14件は十分とは言えず、また、成果としては小粒である。今後は商品化の見通しが明るいものに絞って研究開発を進めるなど、重点化が必要である。また、特許の活用方針の構築にも期待する。

##### ④ 今後の見通し

「コーディネート活動促進事業」等の県単独のプログラムを、「バイオフォレスト構想」、「セミコンダクタ・フォレスト構想」及び「ものづくりフォレスト構想」の3つのフォレスト構想の中で展開していく方向は妥当であり、県の意気込みが感じられる。今後は育成したシーズを出口に繋げるための具体的な施策を打ち出すことが求められる。また、次世代のコーディネータの育成にも期待したい。

##### ⑤ 総合評価

TLOとの連携など個性的な様々な試みを行いつつ事業を推進し、シーズ育成の成果も着実に上がり、また、大学等の研究者の意識改革やTLOの活性化にも結びついたと言える。今後は、県単独の事業等によりコーディネート活動を継続していき、これまでに育成したシーズや特許の有効活用と、さらなるシーズ発掘、ニーズ発掘を期待する。また、成果を上手にアピールしていく努力も必要である。

[目次に戻る](#)

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書を基に事務局作成）

### （1）成果一覧

	群馬県	三重県	高知県	熊本県
コーディネート実績件数				
・研究シーズに対して	179	563	1594	428
・企業ニーズに対して	486	256	252	180
新技術説明会	9	6	41	6
育成試験	61	50	58	44
他の事業への展開	25	64	85	37
（文部科学省関係）	（9）	（20）	（41）	（8）
（経済産業省関係）	（9）	（17）	（14）	（13）
（その他省庁関係）	（0）	（6）	（5）	（0）
（その他県単独事業等）	（7）	（21）	（25）	（16）
実用化	34	29	9	5
商品化	9	15	5	5
起業化	2	4	6	4
特許出願件数	81	62	92	57
論文発表	383	85	50	177
（国内）	（222）	（40）	（28）	（67）
（国外）	（161）	（45）	（22）	（110）
学会発表	297	218	96	227
（国内）	（205）	（173）	（80）	（170）
（国外）	（92）	（45）	（16）	（57）

[目次に戻る](#)



## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ① 育成試験等テーマ名（カッコ内は実施年度）

地域名	テーマ名
群馬県	無線を用いたデータ収集システムのためのアクセス系の研究（H13）
	円筒容器内面の清浄化技術の開発研究（H13）
	金属ガラスの超塑性形成加工によるマイクロギヤードモーターの開発（H13）
	金属ガラスの超塑性形成加工によるマイクロギヤードモーターの開発（H13）
	植物バイオプロダクトを利用したエコレメディエーション技術の開発（H13）
	フロン分解時に副生するスラッジの有効利用に関する研究（H13）
	MIMによる新素材の開発とその応用（H14）
	インテリジェント電動車いすの開発（H14）
	高精度水分濃度光センサの開発（H14）
	官能基化ナノチューブ（H14）
	イオン交換作用を用いた微粒子合成法の開発（H14）
	セラミック処理水を用いた機能性食品の開発（H14）
	ポリデプシペプチドからなる生体内分解性を有する薬物徐放性機能材料（H14）
	細胞の増殖と接着の制御機構に関する新規シグナル分子の網羅的探索と創薬への応用（H14）
	血清中セレン蛋白セレンプロテインPの疾病予防機構の解明（H14）
	ヒマラヤマボウシ培養不定根由来粗酵素の芳香族化合物分解特性（H14）
	肉の素 ミオシン植物の開発（H15）
	身体に良い脂肪酸を含む鶏卵の作製を目指した基礎的研究（H15）
	食の安全を指向した農作物の生育モニタリング（H15）

キャベツのホスホリパーゼを用いた酵素リアクターの検討 (H 1 5)

蛋白質機能制御物質の研究開発 (H 1 5)

次世代光記録材料の開発研究 (H 1 5)

導電性高分子素材の研究開発 (H 1 5)

高効率色素増感太陽電池の開発研究 (H 1 5)

凝集剤による畜産有機廃棄物の浄化技術開発 (H 1 5)

湯流れ・凝固解析技術を利用したダイカスト品の品質向上実用化技術研究 (H 1 5)

高性能メカトロ要素の開発研究 (H 1 5)

ハードウェア/ソフトウェア協調設計環境、および設計手法に関する研究 (H 1 5)

知的制御システムの構築 (H 1 5)

ウェアラブルな動的システム (生体を含む) の自動計測・制御技術の構築 (H 1 6)

体表点字装置を用いた応用システムの構築 (H 1 6)

バイオセンサの多機能化と感性測定用センサへの展開 (H 1 6)

新しい有機系紫外線吸収剤の開発 (H 1 6)

可視光応答性光触媒の研究開発 (H 1 6)

S i Cセラミックスマイクロチューブの研究開発 (H 1 6)

飛灰・土壌中ダイオキシン類の電子ビーム分解除去技術の開発 (H 1 6)

自己免疫疾患の予防に有効な新規機能性食品素材の検索 (H 1 6)

老化神経細胞の機能再生 (H 1 6)

骨格筋廃用萎縮の病気分類への簡便な検査法および検査試薬の開発 (H 1 6)

高ビタミンU新葉菜の開発 (H 1 6)

農林産余剰物の神経細胞活性化物質の実用化 (H 1 6)

環境にやさしいセミドライ加工技術の実用化研究 (H 1 6)

高機能分析チップの開発研究 (H 1 6)

常温接合技術開発 (H 1 6)

林業作業用ベースマシンの開発 (H 1 6)

圧印加時の血液量計測による血液粘性特性評価システム (H 1 7)

携帯電話を活用した健康情報ネットワークサービス (H 1 7)

燃料電池材料に適した複合微粒子材料の製造法の開発 (H 1 7)

環境適合性機能コーティング技術の開発 (H 1 7)

天然由来抗菌性物質の探索及び繊維加工への応用研究 (H 1 7)

ポジトロン消滅を利用した有用作物品種の効率的な選抜のための新規スクリーニングシステムの開発 (H 1 7)

植物の機能性色素遺伝子利用技術の開発 (H 1 7)

抗アジアロGM1抗体による細胞分類と臨床診断 (H 1 7)

カワノリ養殖生産技術の開発 (H 1 7)

野菜の環境保全型栽培と機能性物質に関する研究 (H 1 7)

炭化材料含有有機生分解性材料の開発（H 1 7）

栽培ハウスの最適空調方式の探索と実験的研究（H 1 7）

常緑性アジサイ園芸種の組織培養による大量増殖法の開発（H 1 7）

群馬県産農林産物中の活性酸素消去物質の探索と実用化（H 1 7）

半導体製造用配管部品等のクリーン化技術の研究（H 1 7）

食品と水に含まれる有害微生物の迅速高感度遺伝子検出法の確立（H 1 7）

[目次に戻る](#) ・ [→三重県](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ① 育成試験等テーマ名（カッコ内は実施年度）

地域名	テーマ名
三重県	環境にやさしい多層膜処理による合金皮膜作製システム（H13）
	一般家庭への普及を目的とした小型風力発電システムの開発（H13）
	養殖魚類の細菌性疾病およびウイルス病に対する経口免疫のためのリポソーム封入ワクチンの開発（H13）
	有用微生物機能を付与した高度機能性土壌の開発（H13）
	不良環境下における作物の着果促進剤としてのポリアミンの利用開発（H13）
	食品廃棄物資源を利用した高付加価値飼料の製造法の開発（H13）
	オーストラリア産サイプレス材抽出成分の高度利用に関する研究（H13）
	注射薬による医療事故防止のための機能化ごみ箱の開発（H14）
	血液流動性測定装置の開発と血流改善薬剤の探索研究（H14）
	ダイヤモンドをメカノケミカル研磨により平坦化する技術の商用化（H14）
	看護師の自動勤務表作成システム（H14）
	新規β-ラクタム系抗生物質合成法の開発と高活性誘導体の探索研究（H14）
	B細胞認識に基づく新規モノクローナル抗体作製法の抗体チップへの応用（H14）
	汎用モノマーに対する新規重合禁止剤の開発（H14）
	アマモ場造成技術に関する基礎研究および造成基板の新規開発（H14）
	生活習慣病の予防に効果のある加工食品・飲料の製造のための試験研究（H14）
	薬の葉や花に含まれる抗菌物質の同定とその作用機構に関する研究（H14）
	有用生薬を用いたテーラーメイド機能性食品の開発—DNAチップによる網羅的な中枢効果の検証—（H15）

ウイルス様中空粒子（VLP）を用いた経口ワクチン開発（H15）

次世代無線LANシステム用伝送方式の研究開発（H15）

ゾルゲル法を利用した新規ハイブリッド型有機EL材料の開発（H15）

超高速光スイッチ、超高速波長変換材料（H15）

再生医療用エラスチンマトリックス材料の開発（H15）

未利用糖質資源からエコ・アルコール醗酵技術の開発（H15）

生ゴミ等未利用バイオマスの微生物分解による水素・メタンガスの生産（H15）

小豆加工副産物（煮汁）に存在する機能性物質の探索と実用化を目指した生理作用の検証（H15）

活性酸素分析のための発光分析剤の開発（H15）

次世代エレクトロニクスに対応する異方性導電フィルム基材の製造技術の確立（H15）

木質廃材資源を活用したバインダーレス成型体の製造方法の開発（H15）

核酸代謝酵素欠損症の診断と酵素欠損を標的とする選択的癌化学療法の開発（H16）

腰椎不安定性測定器の開発－商品化に向けて－（H16）

水質浄化用の電気分解電極材料の研究開発（H16）

有機－無機ナノハイブリッド材料の電気物性による耐熱性評価と複合化による機能化（H16）

カーボンナノチューブ表面でのガス分子の吸着・脱離現象を利用した超高速スイッチング素子の開発（H16）

インクジェット方式を用いた蛍光体塗布装置の開発（H16）

アマエビ表皮に存在するキチン結合能を持つ脂溶性タンパク質（H16）

ナノオートマイクロインジェクション装置の開発（H16）

全固体電池における電極／電解質材料間の接合技術開発（H17）

有機／無機ハイブリッドを利用した機能性シリカゲルの合成と医療用マテリアルへの応用（H17）

高イオン導電性高分子材料の開発（H17）

カーボンナノチューブを用いた極細電子線バイプリズムの作製（H17）

環境調和とコストを両立する製品設計エキスパートシステム（H17）

在来構法木造住宅の耐震補強工法の開発研究（H17）

ゴマリグナン配糖体による生体内での発現時間制御可能な抗酸化物質の開発（H17）

新規糖鎖を用いた薬物移動システムの開発（H17）

コイヘルペスウイルス病リポソームワクチン作製のためのコイヘルペスウイルスの大量培養方法の開発（H17）

酵母サッカロミセス・セレビスエと酵母ピキア・アノマラの異種間混合培養法を用いたアルコール飲料の製造（H17）

IgA腎症治療支援食品添加剤の開発（H17）

組織工学・再生医療を応用した新しい血管内治療法の開発（H17）

レシチン、イチョウ葉エキス、ガラナーの配合物投与による脳内ホルモンの  
分泌量、アルツハイマー、記憶改善、脳内海馬の組織学的変化に対する研究  
(H 1 7)

[目次に戻る](#) ・ [→高知県](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ① 育成試験等テーマ名（カッコ内は実施年度）

地域名	テーマ名
高知県	高性能ナノダイヤモンド電子エミッタの室温形成法の開発（H13）
	高耐震性建築鉄骨製作法の開発（H13）
	超軽量3次元圧縮技術を核とするインターネット放送作成ツール（H13）
	無線LANによる地域情報化ネットワークの研究（H13）
	水熱反応を利用した機能性無機材料粉体の形態制御法（H13）
	海洋深層水による藻類の培養技術及び優良素材化技術の開発（H13） （1）海洋深層水による海藻の大量培養システムの開発 （2）海洋深層水を用いて培養した藻類の優良素材化技術の開発
	海洋深層水で培養した藻類の有効成分利用技術の開発（H13）
	海洋深層水の食品への利用技術の開発<膜分離により成分調整された海洋深層水の食品利用技術の開発>（H13）
	便座と車椅子間の回旋移乗式自動介助装置の開発（H13）
	藻多糖と廃パルプを利用した簡易浄水剤の開発（H13）
	微生物酵素による高βグルカン含有真菌類の加工と定量に関する調査（H14）
	転倒防止できる全方向移動型歩行訓練機（H14）
	環境調和型潤滑剤の開発（H14）
	汚泥を路盤砂材としてリサイクルするための造粒装置の開発（H14）
	水熱反応を利用した機能性無機材料粉末の形態制御法の開発（H14）
	無線LANによる地域情報化ネットワークの開発（H14）
	360度画像合成システムを使った立体ウォークスルーシステムの調査（H14）
	レーザーラマン分光によるその場観察に基づく新しい半導体プロセス技術及び装置の開発（H14）

データ駆動型超高速ネットワークプロセッサの高機能化に関する調査研究  
(H14)

海洋深層水による藻類の培養及び利用技術に関する研究 (H14)

- (1) 海洋深層水で培養した藻類の有効成分利用技術の開発
- (2) 海藻の機能性物質の利用技術に関する調査
- (3) 海洋深層水による海藻の大量培養システム
- (4) 海洋深層水で培養した藻類の優良素材化技術の開発

海洋深層水の食品への利用技術の開発<膜分離により成分調整された海洋深層水の食品利用技術の開発> (H14)

ユズ果皮の有効成分の高度化利用に関する研究 (H14)

- (1) 高品質ユズ精油の製造に関する試験研究
- (2) ユズの有効利用に関する研究

食事摂取量を画像処理により自動計測し最適給食を可能とする高機能療養システムの開発 (H15)

ZnS半導体のドナー・アクセプタ相互作用による電気・光特性ハイブリッド制御 (H15)

害虫防除機能を有する農業廃棄物を利用した新害虫防除剤の開発 (H15)

微細針状シリコン結晶の新合成方法とその応用 (H15)

化学的リハビリのための簡易型足底圧センサによる関節にかかる力、モーメント測定装置の開発 (H15)

レーザー超音波によるコンクリート構造物内部の非接触・非破壊検査システムの開発 (H15)

黒酵母の水溶性βグルカンの改良とペットフードとしての利用 (H15)

刺激による周術期自動血圧管理システムの開発 (H15)

模様修飾した水流交絡方による次世代不織布の開発 (H15)

海洋深層水と単細胞緑藻を利用したコラーゲン蛋白の生産 (H15)

ユズ精油の効率的抽出と有用成分の高度利用に関する開発 (H15)

- (1) 高品質ユズ精油の製造に関する試験研究
- (2) ユズの有効利用に関する研究

激増するアユ、サケ科魚類の冷水病対策経口ワクチンの開発 (H15)

超音波を用いた転がり軸受の新しい潤滑診断技術 (H16)

オゾンを用いたレジスト剥離に関する研究開発 (H16)

波長選択光吸収・発行性色素の創出と農園芸フィルム開発への応用  
(H16)

液晶注入解析用ソフトウェアの開発 (H16)

LSI多層配線の最小層数による修正配線法の研究 (H16)

低タイミングジッタ短光パルス光源の研究 (H16)

水溶性ヒ素と重金属除去剤およびそれを用いた水溶性ヒ素と重金属の除去方法 (H16)

天然物由来の加工薬品を用いた紙・不織布加工技術の研究 (H16)

濃縮深層水を利用した微細藻・デュナリエラの大量培養技術の確立と藻体の機能性解明に関する基礎的研究 (H16)

バクテリオファージ由来溶菌酵素を利用する多剤耐性黄色ブドウ球菌除菌法の開発 (H16)



魚類冷水病原菌の異なる血清型に共通に存在する有効抗原の同定  
(H 1 6)

藻をタンパク質生産の場とした食餌ワクチンの開発 (H 1 6)

波長変換型フィルム用発光色素の開発と農業への応用研究 (H 1 7)

(1) 固体発光性色素の創出と農園芸用光調整フィルムの開発  
(2) 波長変換用発光型フィルムを利用した施設園芸作物の高付加価値化実証

ブリの類結節症に対する実用的なワクチンの開発 (H 1 7)

単細胞藻の高濃塩海水による培養と応用 (H 1 7)

(1) 単細胞藻デュナリエラの濃縮海洋深層水による培養と機能性解明  
(2) 単細胞藻の濃塩海水による培養と外皮多糖の生分解性プラスチック化

ショウガを利用した発酵飲食品製造技術の開発 (H 1 7)

高分子微細表面制御による高耐久工業材料の開発 (H 1 7)

製紙用原料の改質による機能性繊維の開発 (H 1 7)

回転体によって流体を打ちつける方式の身体洗浄マッサージ装置の開発  
(H 1 7)

黒潮圏に生息する有用酵母の探索と新たな発酵食品の開発 (H 1 7)

遠隔制御方式による高機能道路交通規制表示システムの開発 (H 1 7)

製紙スラッジの高速L-乳酸発酵およびメタン発酵複合プロセス (H 1 7)

高速自動いりご選別システムの開発 (H 1 7)

高齢者転倒予防のための機器開発およびその商品化 (H 1 7)

[目次に戻る](#) ・ [→熊本県](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ① 育成試験等テーマ名（カッコ内は実施年度）

地域名	テーマ名
熊本県	閉所移動・作業ロボットの遠隔操作における力触覚機能に関する研究（H13）
	レーザーアブレーション法を用いたナノ構造物質生成基礎過程の研究（H13）
	ケモカインレセプターに対する新規ペプチドワクチンの創製とその生物学的評価（H13）
	組織培養における興奮性パルス磁場刺激の応用（H13）
	構造的発色の研究とその応用（H13）
	海藻ノリ中の機能性有効成分の抽出・精製法の開発（H13）
	ナス果実の着色、味覚成分及び機能成分に関する研究（H13）
	個体識別のための信号・情報処理（H13）
	中空大口径薄型磁気軸受けモータのシステム概念の確立（H13）
	新たなレーザーアブレーションシステムの研究（H14）
	リング状リニアモータの構造最適化の研究（H14）
	パルスパワーを用いた微生物破壊メカニズムの探求（H14）
	電気化学的手法による免疫不全ウイルス感染細胞の選択的破壊および増殖抑制に関する研究（H14）
	有機化学的手法を用いた液相中におけるダイヤモンド薄膜・微粒子の表面化学修飾に関する研究（H14）
	蛋白質燐酸化酵素の遺伝子改変による糖尿病モデルマウスの作製（H14）
	ガンの悪性化を抑制する新規デコイDNAの開発（H14）
	境調和型バイオポリエステルを生合成に関する研究（H14）
植物キチナーゼ類縁酵素を用いた抗菌力の高い植物の耐病メカニズムの研究（H14）	
大豆煮汁からの有用食品の製造（H14）	

リング状リニアモータの高速回転実証試験（H 1 5）  
ナノチップを指向した金属膜構造を有する基板の研究（H 1 5）  
輻射平衡炉の熱・流体的研究（H 1 5）  
配列制御複合酵素ポリマーによる高感度バイオセンサー開発（H 1 5）  
誤燕防止システムの開発（H 1 5）  
特定蛋白を標的とした大腸癌・膵臓癌の予防・治療戦略（H 1 5）  
薬剤耐性菌の新規検出試薬開発（H 1 5）  
簡易型環境自動計測手法の開発  
金属元素吸収能を利用した有用植物検索法の確立（塩性植物を用いた緑化対策法）（H 1 5）  
金属元素吸収能を利用した有用植物検索法の確立（植物を用いたカドミウム除去法）（H 1 5）  
環境ホルモン（フタル酸エステル類）の生分解と処理プロセス構築に関する研究開発（H 1 5）  
高効率・大出力オゾナイザーの研究開発と土壌改良への応用（H 1 5）  
有機金属材料を用いたカーボンナノチューブの成長プロセスの開発（H 1 6）  
三原色光触媒／カーボン複合マイクロビーズの開発とその環境保全色材への応用開発（H 1 6）  
生体電気信号刺激装置の開発およびその再生・移植医療への応用展開（H 1 6）  
蛋白チップを用いた新規脳腫瘍診断法の開発（H 1 6）  
新規エンドトキシン除去ビーズの前臨床試験及び医療分野における応用開発（H 1 6）  
オゾンによる土壌殺菌技術実用化要素の研究（H 1 7）  
有機金属材料を用いたカーボンナノチューブによるナノチップの形成（H 1 7）  
新規高分子除去ビーズによるタンパク製剤からの核酸除去（H 1 7）  
生体電気信号刺激技術の再生・移植医療への適用（H 1 7）  
プロテオーム解析による腫瘍診断システムの開発（H 1 7）  
新規ペプチドワクチン免疫療法の開発（H 1 7）  
微弱パルス電流及び温熱を利用した新規ガン治療法の開発（H 1 7）  
水中衝撃波の発生・制御技術の確立（H 1 7）

[目次に戻る](#)

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ② 諸事業に展開した例

#### 群馬県

##### （1）文部科学省関係

事業名	： 研究成果最適移転事業成果育成プログラム（独創モデル化）
事業主体	： 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	： 20,000千円
事業期間	： 平成14年度
基になった研究シーズ	： 二枚の不透水シートの間格子状のシート（格子網）を挟み、格子網の上下面を上下のシートに接着し、この格子網の中に高分子吸収体を充填することを特徴とする遮水シート。
研究者	： 長屋幸助（群馬大学工学部 教授）
基になったRSP活動	： 「デントライトとゴムシートを用いた無漏水廃棄物処分場の開発」 （可能性試験H12-10）

事業名	： 特許化支援
事業主体	： 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	： -
事業期間	： 平成14年度
基になった研究シーズ	： 野性型のCa <sup>2+</sup> 結合型ミオシンと実質的に同一の機能を有する組み換えミオシンの提供。
研究者	： 小濱一弘（群馬大学医学部 教授）、中村彰男（群馬大学医学部）
基になったRSP活動	： 「肉の素・ミオシン植物の開発」（育成試験H15-01） 育成試験実施（情報公開）に先立つ出願

事業名	: 地域結集型共同研究事業
事業主体	: 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	: 24億円(5年間)
事業期間	: 平成17~22年度
基になった研究シーズ	: ① 安価な有機質原料を利用しての高效率な低温接触ガス化、ガス化残渣から付加価値の高い機能性微粒子新材料を回収するシステム ② アンモニア回収工程において、糞尿を含有する畜産廃棄物の窒素成分を十分にアンモニアに変換して悪臭の原因となるアンモニアを十分に除去すると同時にリン成分を除去することが可能な処理方法
研究者	: ① 宝田恭之(群馬大学工学部 教授) ② 星野幹雄(理化学研究所→株式会社REC 専務取締役)
基になったRSP活動	: ① 「イオン交換作用を用いた微粒子合成法の開発」(育成試験H14-05) ② 「凝集剤による畜産有機廃棄物の浄化技術開発」(育成試験H15-09)

事業名	: 都市エリア産学官連携促進事業(桐生・太田エリア)
事業主体	: 文部科学省
予算規模	: 277,500千円
事業期間	: 平成14年度~16年度
基になった研究シーズ	: ナノメートルサイズの量産化加工技術
研究者	: 早乙女康典(群馬大学工学部 助教授)
基になったRSP活動	: 「金属ガラスの超塑性形成加工によるマイクロギヤードモーターの開発」(育成試験H13-03)

事業名	: 私立大学学術研究高度化推進事業 産学連携研究推進事業
事業主体	: 文部科学省
予算規模	: 46,000千円
事業期間	: 平成15年度~19年度
基になった研究シーズ	: 植物バイオプロダクトを利用したエコレメディエーション技術の開発、ヒマラヤマボウシ培養不定根由来粗酵素の芳香族化合物分解
研究者	: 下村講一郎(東洋大学生命科学研究科 教授)と植物機能制御研究チーム
基になったRSP活動	: ① 「植物バイオプロダクトを利用したエコレメディエーション技術の開発」(育成試験H13-05) ② 「ヒマラヤマボウシ培養不定根由来粗酵素の芳

香族化合物分解」(育成試験H14-10)  
③「食の安全を指向した農作物の生育モニタリング」  
(育成試験H15-03)

事業名 : 科学研究費補助金 基礎研究 (C)  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 3,500千円  
事業期間 : 平成16~17年  
基になった研究シーズ : フラーレンを含むカテナン、ロタキシン等のインターロック化合物の合成  
研究者 : 西村淳(群馬大学 教授)、中村 洋介(群馬大学 助手)  
基になったRSP活動 : 「官能基ナノチューブ」(育成試験H14-04)

事業名 : 特別研究経費・連携融合事業  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 26,000千円  
事業期間 : 平成17~21年  
基になった研究シーズ : s i cセラミックスマイクロチューブの研究開発  
研究者 : ① 平塚浩士(群馬大学工学部 教授)  
② 杉本雅樹(日本原子力研究開発機構 グループ リーダー)  
③ 植松 豊(群馬産業技術センター 所長)  
基になったRSP活動 : 群馬県RSP事業 新素材領域分科会活動  
「s i cセラミックスマイクロチューブの研究開発」(育成試験H16-06)

事業名 : 科学研究費補助金 基礎研究 (B)  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 14,000千円  
事業期間 : 平成17~19年  
基になった研究シーズ : 高機能分析チップの開発研究  
研究者 : 角田欣一(群馬大学工学部 教授)  
基になったRSP活動 : 「高機能分析チップの開発研究」(育成試験 H16-14)

事業名 : 科学研究費補助金 基礎研究 (C)  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 1,900千円  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : キャピラリー電気泳動法の新展開  
キャピラリー電気泳動装置とICP質量分析装置の新しいインターフェースの開発技術

研究者 : 角田欣一 (群馬大学工学部 教授) (研究分担者)  
基になった R S P 活動 : 「高機能分析チップの開発研究」 (育成試験 H 1 6 - 1 4)

## (2) 経済産業省関係

事業名 : 即効型地域新生コンソーシアム  
事業主体 : 関東経済産業局  
予算規模 : 61,163千円  
事業期間 : 平成13年度  
基になった研究シーズ : 生物・電気化学処理技術、廃水処理周辺技術、高効率化汚泥炭化技術  
研究者 : 尾崎益雄 (前橋工科大学 教授)  
基になった R S P 活動 : 「有機物汚濁排水の高度処理とそれに伴う富栄養原因物質除去プロセスの解明」 (可能性試験 H 1 0 - 0 6)

事業名 : 即効型地域新生コンソーシアム  
事業主体 : 関東経済産業局  
予算規模 : 9,064千円  
事業期間 : 平成13年度  
基になった研究シーズ : 大型電極による電解複合研磨と超音波洗浄技術  
研究者 : 鈴木稔 (カンサン株式会社 取締役工場長)  
下田祐紀夫 (群馬工業高等専門学校 教授)  
基になった R S P 活動 : ① 「半導体ガス用圧力容器内面の超精密バレル研磨技術の開発」 (可能性試験 H 1 1 - 0 8)  
② 「円筒容器内面の清浄化技術の開発研究」 (育成試験 H 1 3 - 0 2)

事業名 : 即効型地域新生コンソーシアム  
事業主体 : 関東経済産業局  
予算規模 : 15,291千円  
事業期間 : 平成13年度  
基になった研究シーズ : 帯域圧縮符号化に伴う動画像情報の歪みを減らす技術  
研究者 : 松本浩樹 (前橋工科大学 講師)、堀越淳 (前橋工科大学 教授)  
基になった R S P 活動 : ① 「移動体通信とインターネットのためのブラインド等化器の実時間処理特性の解明」 (可能性試験 H 1 2 - 0 8)  
② 「無線を用いたデータ収集システムのためのアクセス・ネットワーク系の研究」 (育成試験 H 1 3 - 0 1)

事業名 : 即効型地域新生コンソーシアム (平成13年度)

事業主体 : 関東経済産業局  
予算規模 : 8,458千円  
事業期間 : 平成13年度  
基になった研究シーズ : 産業廃棄物として処理されている飛粉（コンニャクの副産物）の生分解性  
研究者 : 瀧上昭治（群馬大学 助教授）  
基になったRSP活動 : 「コンニャク飛粉を利用した生分解性ポリウレタンの製造に関する研究」（可能性試験H12-12）

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業  
事業主体 : 関東経済産業局  
予算規模 : 7,814千円  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 群馬大学のセラミックスと金属の強度と破壊に関する研究成果  
研究者 : 伊藤勲（群馬大学 教授）  
基になったRSP活動 : 「セラミックと金属の耐熱性新接合法の開発」（可能性試験H11-02）

事業名 : ものづくり・IT融合化推進技術の研究開発  
事業主体 : 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
予算規模 : 1,581,550千円  
事業期間 : 平成13年12月～平成20年3月  
基になった研究シーズ : 知識処理と数値解析を複合した逆解析  
研究者 : 大橋隆弘（群馬大学 助手→産業技術総合研究所 統合技術研究チーム長）  
基になったRSP活動 : 「知識処理と数値解析を複合した逆解析による鍛造型の高度設計システム」（可能性試験H11-04）

事業名 : 太陽光発電技術研究開発受託研究  
事業主体 : 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
予算規模 : 12,019千円  
事業期間 : 平成17年9月～18年3月  
基になった研究シーズ : 太陽光発電の色素増感による高効率化  
研究者 : 花屋実（群馬大学工学部 教授）  
基になったRSP活動 : 「高効率色素増感太陽電池の研究開発」（育成試験H15-08）

事業名 : 先導的基礎技術研究開発  
事業主体 : 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
予算規模 : 13,990千円



事業期間 : 平成16年12月～17年3月  
基になった研究シーズ : 高エネルギー密度を有する高性能DMF  
研究者 : 中川紳好 (群馬大学工学部 教授)  
基になったRSP活動 : 「燃料電池材料に適した複合微粒子材料の製造法の開発」 (育成試験H17-03)

事業名 : 石炭利用実用化技術開発〔経済産業省補助事業〕  
事業主体 : 財団法人石炭利用総合センター  
予算規模 : 4,000千円  
事業期間 : 平成16年4月～平成17年3月  
基になった研究シーズ : イオン交換作用を用いた微粒子合成法の開発  
研究者 : 宝田恭之 (群馬大学工学部 教授)、森下佳代子 (群馬大学工学部 助手)、  
岡田康晴 (財団法人石炭利用総合センター事業部)  
基になったRSP活動 : 「イオン交換作用を用いた微粒子合成法の開発」 (育成試験H14-05)

(3) その他省庁関係  
なし

(4) 都道府県単独事業およびその他事業

事業名 : 商品化・事業化可能性調査事業  
事業主体 : 群馬県  
予算規模 : 3,750千円  
事業期間 : 平成13年度  
基になった研究シーズ : 二枚の不透水シートの間格子状のシート (格子網) を挟み、格子網の上下面を上下のシートに接着し、この格子網の中に高分子吸収体を充填することを特徴とする遮水シート  
研究者 : 長屋幸助 (群馬大学 教授)  
基になったRSP活動 : 「デントライトとゴムシートを用いた無漏水廃棄物処分場の開発」 (可能性試験H12-10)

事業名 : 商品化・事業化可能性調査事業  
事業主体 : 群馬県  
予算規模 : 3,790千円  
事業期間 : 平成13年度  
基になった研究シーズ : 産業廃棄物として処理されている飛粉 (コンニャクの副産物) の生分解性  
研究者 : 瀧上昭治 (群馬大学 教授)  
基になったRSP活動 : 「コンニャク飛粉を利用した生分解性ポリウレタンの製造に関する研究」 (可能性試験H12-12)

事業名 : 産学官共同研究トライ補助  
事業主体 : 群馬県  
予算規模 : 500千円  
事業期間 : 平成15年度  
研究者 : 下田祐紀夫 (群馬工業高等専門学校 教授)  
基になったRSP活動 : 新製造技術領域分科会における参加企業二一ズ発言から地域の大学研究者数名に可能性を打診した中から取り組みが具体化した。

事業名 : 産学官連携推進補助金 (提案型)  
事業主体 : 群馬県  
予算規模 : 15,363千円  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : ヒトの痴呆症の発症メカニズムの解明  
研究者 : 原田 彰宏 (群馬大学 教授)  
基になったRSP活動 : 医療・バイオ領域分科会における参加企業株式会社日本免疫生物研究所と同じく参加メンバーである神経系統の研究シーズをもつ原田教授に補助金の紹介をし、申請し採択された。

事業名 : 商品化・事業化可能性調査事業  
事業主体 : 財団法人群馬県産業支援機構  
予算規模 : 1,500千円  
事業期間 : 平成15年度  
研究者 : 木村 和雄 (太陽農産株式会社 社長)  
基になったRSP活動 : 木村社長が県の商工労働部に開発支援の相談に行き、医療バイオ担当の大山を紹介され、領域分科会のネットワークを活用して支援することになった。

事業名 : 北関東産官学研究会共同研究 (第1種)  
事業主体 : 北関東産官学研究会  
予算規模 : 1,500千円  
事業期間 : 平成17年度  
研究者 : 関口昭博 (群馬産業技術センター 主任)  
基になったRSP活動 : 「農林産余剰物の神経細胞活性化物質の実用化」(育成試験H16-12)

事業名 : 商品化・事業化可能性調査事業  
事業主体 : 財団法人群馬県産業支援  
予算規模 : 1,000千円  
事業期間 : H17年度  
研究者 : 能登谷正浩 (東京海洋大学 教授)

基になったR S P活動 : 「カワノリ養殖生産技術の開発」 (育成試験  
H 1 7 - 0 9)

[目次に戻る](#) ・ [→三重県](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ② 諸事業に展開した例

#### 三重県

##### （1）文部科学省関係

事業名	： 地域結集型共同研究事業
事業主体	： 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	： 5.2億円／年
事業期間	： 平成14年度～平成18年度
基になった研究シーズ	： 1) アマモ場造成技術に関する基礎研究および造成基板の新規開発 2) マイクロバブルの生成とその応用に関する研究 3) 微生物による底質の分解、微生物利用 他
研究者	： 1) 前川行幸（三重大学生物資源学部、教授） 2) 社河内敏彦（三重大学工学部、教授） 3) 栗冠和郎（三重大学生物資源学部、助教授）
基になったRSP活動	： 平成14年度育成試験

事業名	： 独創的研究成果共同育成事業
事業主体	： 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	： 20,000～35,000千円程度
事業期間	： 平成13年度
基になった研究シーズ	： ヒト体液中テネイシンC測定臨床診断薬の開発
研究者	： 吉田利通（三重大学医学部、教授）
基になったRSP活動	： 平成13年度シーズ調査

事業名	： F/S 委託研究課題
事業主体	： 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	： 2,000千円程度

事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 熱過程によるすず-亜鉛多層膜からの高耐食性カドミウムフリー合金めっき  
研究者 : 兼松秀行 (鈴鹿工業高等専門学校、助教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度育成試験

事業名 : 事業化のための育成研究課題 (プラザ東海)  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 90,000千円  
事業期間 : 平成15年度~平成17年度  
基になった研究シーズ : 1) 血液流動性測定装置の開発と血流改善薬剤の探索研究  
2) Protein S (PS) の作用機構の解明とPS受容体の単離・同定  
3) 血栓性疾患の発症にかかわるゲノム異常、ゲノム多型の検索  
4) 血管新生に関与するプロテアーゼとその制御調節因子に関する基礎的研究  
研究者 : 鈴木宏治 (三重大学医学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験

事業名 : F/S 委託研究課題 (プラザ東海)  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円前後  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 花き・花木中に含まれる生理活性物質の探索  
研究者 : 生貝初 (鈴鹿工業高等専門学校、教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験

事業名 : F/S 委託研究課題  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円前後  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 粘膜免疫誘導可能な経口・経鼻ワクチンの開発  
研究者 : 保富康宏 (三重大学医学部、助教授)  
基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験、平成17年度シーズ調査

事業名 : データ補完  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 1,000~1,500千円程度  
事業期間 : 平成16年度

基になった研究シーズ : 非線形特性を有するシンプル・軽量なバネの開発と応用  
研究者 : 白井達也 (鈴鹿工業高等専門学校、講師)  
基になったR S P活動 : 平成16年度シーズ調査

事業名 : F/S 委託研究課題  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円程度  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 非線形ばねを用いた体位変換補助機能付き介護ベッドの開発  
研究者 : 白井達也 (鈴鹿工業高等専門学校、講師)  
基になったR S P活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : F/S 委託研究課題  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円程度  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : バイオテクノロジーによる新しい自然発症型の癌モデル動物の確立  
研究者 : 鈴木昇 (三重大学生命科学研究支援センター、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : シーズ育成試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以内  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 高耐熱性プロトン伝導有機・無機ハイブリッド材料の開発  
研究者 : 青木裕介 (三重大学工学部、助手)  
基になったR S P活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : シーズ育成試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以内  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 次世代超軽量エンジンバルブ製造法の開発  
研究者 : 篠田剛 (名古屋大学工学研究科、教授)  
基になったR S P活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : シーズ育成試験

事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以内  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 乳房X写真における微小石灰化クラスタの自動検出法の開発とその実用化研究  
研究者 : 中山良平 (三重大学医学部、助手)  
基になったRSP活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : シーズ育成試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以内  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 尿中酸化・ニトロ化ストレスのバイオマーカー定量法の開発  
研究者 : 川西正祐 (三重大学医学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : シーズ育成試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以内  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : ナノ制御マイクロインジェクション用送液系の開発  
研究者 : 田丸浩 (三重大学生物資源学部、助教授)  
基になったRSP活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : シーズ育成試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以内  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 生体酸化ストレスの簡易モニタリング技術の開発  
研究者 : 寺西克倫 (三重大学生物資源学部、助教授)  
基になったRSP活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : シーズ育成試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以内  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 生体組織修復促進する伸縮性細胞培養基材の開発  
研究者 : 宮本啓一 (三重大学工学部、工学部)  
基になったRSP活動 : 平成17年度シーズ調査

事業名 : シーズ育成試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以内  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : ・加速度脈波による動脈系の加齢評価および自律神経機能評価システムのIT化  
・加速度脈波による個人対応型の運動耐容能評価システムの開発  
研究者 : 高田晴子 (鈴鹿医療科学大学医用工学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成15、17年度シーズ調査

事業名 : 科学技術振興調整費先導的研究等の推進 (地域の研究開発)  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 50,000~200,000千円程度  
事業期間 : 平成13年度~平成15年度  
基になった研究シーズ : 複合型自然エネルギー発電システムの開発研究  
研究者 : 清水幸丸 (三重大学工学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度シーズ調査

事業名 : 都市エリア産学官連携促進事業  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 2.6億円弱  
事業期間 : 平成16年度~平成18年度  
基になった研究シーズ : ソルゲル法を利用した新規ハイブリッド型有機EL材料の開発  
研究者 : 久保雅敬 (三重大学工学部 助教授)  
基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験、平成15年度専門部会「次世代ディスプレイ・デバイスに関する新材料開発及び機能性向上」「次世代高性能電池材料」

事業名 : 科学研究費若手研究 (B)  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 5,000千円以下  
事業期間 : 平成16年度~平成18年度  
基になった研究シーズ :  
研究者 : 稲葉忠司 (三重大学工学部、助教授)  
基になったRSP活動 : 平成15年度医用工学専門部会

## (2) 経済産業省関係

事業名 : 地域創造技術研究開発費補助金  
事業主体 : NEDO



予 算 規 模 : 40,000千円以内(補助率:2/3以内)  
事 業 期 間 : 平成13年度~平成14年度  
基になった研究シーズ : 高分子材料のリサイクル  
研 究 者 : 加藤忠哉(三重大学工学部 教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度二一ズ調査

事 業 名 : 産業技術研究助成事業  
事 業 主 体 : N E D O  
予 算 規 模 : 40,000千円以内/3年又は30,000千円以内/2年  
事 業 期 間 : 平成14年度~平成15年度  
基になった研究シーズ : 魚類胚を用いた環境モニタリング  
研 究 者 : 田丸浩(三重大学生物資源学部 助教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度シ一ズ調査

事 業 名 : 産業技術研究助成事業  
事 業 主 体 : N E D O  
予 算 規 模 : 40,000千円以内/3年又は30,000千円以内/2年  
事 業 期 間 : 平成14年度~平成15年度  
基になった研究シーズ : 自己形成ナノアンテナ構造を有する高感度窒化物半導体系紫外線受光素子の創製  
研 究 者 : 元垣内敦司(三重大学工学部 助手)  
基になったRSP活動 : 平成13年度シ一ズ調査

事 業 名 : 戦略的産業技術実用化開発費助成事業  
事 業 主 体 : N E D O  
予 算 規 模 : 1億円以内/年  
事 業 期 間 : 平成14年度~15年度  
基になった研究シーズ : カーボンナノチューブの研究  
研 究 者 : 齋藤弥八(三重大学工学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度シ一ズ調査

事 業 名 : 即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業(一般枠)  
事 業 主 体 : 経済産業省  
予 算 規 模 : 1億円程度  
事 業 期 間 : 平成13年度~平成14年度  
基になった研究シーズ : 小型・低コストPEFC用エラストック・セパレータの開発  
研 究 者 : 中村修平(三重大学工学部、教授)

基になったR S P活動 : 平成13年度二一ズ調査

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業

事業主体 : 経済産業省

予算規模 : 1.5億円以内

事業期間 : 平成14年度～平成15年度

基になった研究シーズ : B細胞認識に基づく新規モノクローナル抗体作製法の抗体チップへの応用

研究者 : 富田昌弘 (三重大学工学部、助教授)

基になったR S P活動 : 平成13年度シーズ調査

事業名 : 即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業

事業主体 : 経済産業省

予算規模 : 2億円以内

事業期間 : 平成14年度～平成15年度

基になった研究シーズ : 化学物質安全性評価のためのエンブリオアレイシステムの開発

研究者 : 田中利男 (三重大学医学部、教授)

基になったR S P活動 : 平成13年度シーズ調査

事業名 : 創造技術研究開発補助事業

事業主体 : 経済産業省

予算規模 : 60,000千円以内 (補助率: 2/3以内)

事業期間 : 平成14年度

基になった研究シーズ : 平成14年度二一ズ調査

研究者 :

基になったR S P活動 :

事業名 : 地球環境保全関係産業技術開発促進事業

事業主体 : 経済産業省

予算規模 : 年間数千万円から1億円程度 (事業費の1/2を補助)

事業期間 : 平成14年度～平成16年度

基になった研究シーズ : 食品廃棄物を活用するオンサイト型バイオガス化システムの開発

研究者 : 後藤正和 (三重大学生物資源学部、教授)

基になったR S P活動 : 平成13年度企業シーズ調査

事業名 : 創造技術研究開発事業

事業主体 : 経済産業省

予算規模 : 45,000千円以内 (補助率: 1/2以内)

事業期間 : 平成15年度～16年度  
基になった研究シーズ : 複合型自然エネルギー発電システムの開発研究  
研究者 : 清水幸丸 (三重大学工学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度二一ズ調査

事業名 : 創造技術研究開発事業  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 45,000千円以内 (補助率: 1/2以内)  
事業期間 : 平成15年度～16年度  
基になった研究シーズ : 超微粒子製造のための気流分級に関する研究  
研究者 : 社河内敏彦 (三重大学工学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度二一ズ調査

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業 (中小企業  
枠)  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 50,000千円以内  
事業期間 : 平成16年度～平成17年度  
基になった研究シーズ : 有用生薬を用いたテーラーメイド機能性食品の開発  
研究者 : 藤川隆彦 (三重大学医学部 講師)  
基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験

事業名 : 化学発光・生物発光の計測標準システムに関する調  
査研究  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 :  
事業期間 : 平成17年  
基になった研究シーズ : 分析用発光試薬の開発  
研究者 : 寺西克倫 (三重大学生物資源学部 助教授)  
基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験

事業名 : 固体高分子形燃料電池実用化戦略的技術開発事業・  
基礎的・共通の課題に関する技術開発  
事業主体 : NEDO  
予算規模 : 20,000千円程度  
事業期間 : 平成17年度～18年度  
基になった研究シーズ :  
研究者 : 武田保雄 (三重大学工学部 教授)  
基になったRSP活動 : 次世代高性能電池材料専門部会

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業 (一般枠)

事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 1.5億円以内  
事業期間 : 平成17年度～平成18年度  
基になった研究シーズ : リポソーム工学と遺伝子工学の融合による新規生物工学的技術の開発  
研究者 : 吉村哲郎 (三重大学工学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度育成試験

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業 (一般枠)  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 1.5億円以内  
事業期間 : 平成17年度～平成18年度  
基になった研究シーズ : 未利用糖質資源からエコ・アルコール醗酵技術の開発  
発生澱粉から超微細粉末試料の調整とその新規利用  
研究者 : 久松眞 (三重大学生物資源学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験

事業名 : 新産業創生研究会活動 (東海ものづくり創生プロジェクト産業クラスター計画)  
事業主体 : 中部科学技術センター  
予算規模 :  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : リポソーム工学と遺伝子工学の融合による新規生物工学的技術の開発、効率的リポソームワクチン経口投与方法の開発による養殖魚介類疾病防除方策の確立  
研究者 : 吉村哲郎 (三重大学工学部 教授)、宮崎照雄 (三重大学生物資源学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度育成試験

[目次に戻る](#) ・ [→次へ \(2/2\)](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ② 諸事業に展開した例

#### 三重県

##### （3）其他省庁関係

事業名	： 木質資源循環利用技術開発事業
事業主体	： 林野庁
予算規模	： 14億円（1／2補助）
事業期間	： 平成13年度～17年度
基になった研究シーズ	： 植物系分子素材の高度循環活用システムの構築
研究者	： 船岡正光（三重大学生物資源学部、教授）
基になったRSP活動	： 平成13年度シーズ調査

事業名	： 宇宙開発ベンチャー・ハイテク開発制度事業
事業主体	： 宇宙開発事業団
予算規模	： 1,000千円程度
事業期間	： 平成14年度～15年度
基になった研究シーズ	：
研究者	： 小磯賢智（三重県科学技術振興センター、研究員）
基になったRSP活動	： 平成14年度二一ズ調査

事業名	： 宇宙開発ベンチャー・ハイテク開発制度事業
事業主体	： 宇宙開発事業団
予算規模	： 1,000千円程度
事業期間	： 平成14年度～15年度
基になった研究シーズ	：
研究者	：
基になったRSP活動	： 平成14年度二一ズ調査

事業名	: 漁港高度利用促進対策事業・海洋深層水プログラム
事業主体	: 農林水産省（水産庁）
予算規模	: 23億4700万円
事業期間	: 平成16年度～17年度
基になった研究シーズ	: 海洋深層水の機能性（菅原、大宮）、海洋深層水を利用したハバノリ養殖（前川）、海洋深層水の園芸植物への利用（河合）、海洋深層水を使用したうどんのレオロジー（古市）、熊野灘の海洋環境（内田）、海域の環境評価（伊藤）、干物・活魚輸送（荒木）
研究者	: 菅原庸（教授）、大宮邦男（教授）、前川行幸（教授）、河合義隆（助教授）、古市幸生（教授）、内田誠（助教授）、伊藤良栄（助手）、荒木利芳（教授）（全員三重大学生物資源学部 所属）
基になったRSP活動	: 平成15年度専門部会「海洋深層水の利用」

事業名	: 生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業
事業主体	: 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構
予算規模	: 26,000千円以内/年
事業期間	: 2004年度～2005年度
基になった研究シーズ	: 分析用開発光試薬の開発
研究者	: 寺西克倫（三重大学生物資源学部、助教授）
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験

事業名	: 先端技術を活用した農林水産研究高度化事業
事業主体	: 農林水産省
予算規模	: 20,000千円程度
事業期間	: 平成16年度～平成18年度
基になった研究シーズ	:
研究者	: 荒木利芳（三重大学生物資源学部、教授）
基になったRSP活動	: 専門部会「水産資源の高度有効利用技術の開発」

#### （4）都道府県単独事業およびその他事業

事業名	: 中小企業経営革新支援対策補助金
事業主体	: 三重県
予算規模	: 5,000千円以内（補助対象経費の2/3以内）
事業期間	: 平成15年度
基になった研究シーズ	: 環境にやさしい多層膜熱処理による合金皮膜作製システム
研究者	: 兼松秀行（鈴鹿工業高等専門学校、助教授）
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験

事業名 : 産業廃棄物抑制等研究開発事業費補助金  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 1,000千円から10,000千円 (中小企業は2/3以内、それ以外の企業は1/2)  
事業期間 : 平成13、14年度 (単年ずつ、2回採択)  
基になった研究シーズ : 有機性廃棄物のバイオガス化技術の確立  
研究者 : 後藤正和 (三重大学生物資源学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度企業シーズ調査

事業名 : ものづくり研究開発事業補助金  
事業主体 : 鈴鹿市  
予算規模 : 500~2,500千円 (対象経費の1/2以内)  
事業期間 : 平成15年度~16年度  
基になった研究シーズ : 花き・花木中に含まれる生理活性物質の探索  
研究者 : 生貝初 (鈴鹿工業高等専門学校 助教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験

事業名 : みえビジネスプランコンペ2004  
事業主体 : 財団法人三重県産業支援センター  
予算規模 : 顕彰金3,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 特定保健用食品を取得する企業が申請に必要な実験計画から書類作成までをサポート  
研究者 : 梅田幸嗣 (三重大学医学部、院生)  
基になったRSP活動 : 三重TLOとの連携

事業名 : 天然資源活用バイオ関係研究開発委託事業  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 5,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 有用生薬を用いたテラーメイド機能性食品の開発  
研究者 : 藤川隆彦 (三重大学医学部、講師)  
基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験

事業名 : 天然資源活用バイオ関係研究開発委託事業  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 5,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 環境のゲノム基盤技術開発・薬理ゲノミクステクノロジー

研究者 : 田中利男 (三重大学医学部、教授)  
基になったRSP活動 : ゲノム創薬専門部会

事業名 : 三重県医療・健康・福祉産業産学官共同研究補助事業  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 上限1,500千円 (事業費の1/2)  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 生活習慣病の予防加工食品製造  
研究者 : 田口寛 (三重大学生物資源学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験

事業名 : 液晶技術応用先端医療機器等研究開発委託研究  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 4,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ :  
研究者 : 平松和政 (三重大学工学部、教授)  
基になったRSP活動 : ディスプレイ医療応用専門部会

事業名 : 液晶技術応用先端医療機器等研究開発委託研究  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 4,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ :  
研究者 : 鶴岡信治 (三重大学工学部、教授)  
基になったRSP活動 : ディスプレイ医療応用専門部会

事業名 : 液晶技術応用先端医療機器等研究開発委託研究  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 4,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ :  
研究者 : 奥山文雄 (鈴鹿医療科学大学医用工学部、教授)  
基になったRSP活動 : ディスプレイ医療応用専門部会

事業名 : 中小企業経営改革チャレンジ (新商品・新技術開発) 支援事業  
事業主体 : 財団法人三重県産業支援センター  
予算規模 : 1,500~4,500千円 (事業費の1/2以内)



事業期間 : 平成17年度～平成18年度  
基になった研究シーズ : 非線形特性を有するシンプル・軽量なバネの開発と応用  
研究者 : 白井達也 (鈴鹿工業高等専門学校、講師)  
基になったRSP活動 : 平成16年度シーズ調査、福祉用具開発専門部会

事業名 : 液晶技術応用先端医療機器等研究開発委託事業  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 4,000千円  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ :  
研究者 : 平松和政 (三重大学工学部、教授)、三宅秀人 (三重大学工学部、助教授)、田川俊郎 (三重大学医学部、教授)  
基になったRSP活動 : ディスプレイ医療応用専門部会

事業名 : 中小企業経営改革チャレンジ (新商品・新技術開発) 支援事業  
事業主体 : 財団法人三重県産業支援センター  
予算規模 : 1,500～4,500千円 (事業費の1/2以内)  
事業期間 : 平成17年度～平成18年度  
基になった研究シーズ : 花き・花木中に含まれる生理活性物質の探索  
研究者 : 生貝初 (鈴鹿工業高等専門学校、教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験、芍薬から抽出される機能性物質の同定・有効利用専門部会

事業名 : 中小企業経営改革チャレンジ (新商品・新技術開発) 支援事業  
事業主体 : 財団法人三重県産業支援センター  
予算規模 : 1,500～4,500千円 (事業費の1/2以内)  
事業期間 : 平成17年度～平成18年度  
基になった研究シーズ : 生活習慣病の予防加工食品製造  
研究者 : 田口寛 (三重大学生物資源学部 教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験

事業名 : アグリビジネス化支援研究開発事業  
事業主体 : 三重県  
予算規模 : 8,000千円程度/年  
事業期間 : 平成16年度～17年度

基になった研究シーズ : カンキツおよびカキの未利用資源からの地域特産機能性食品素材の開発とその利用  
研究者 : 市ノ木山浩道 (三重県科学技術振興センター、主幹研究員)  
基になったR S P活動 : かんきつ類の有効利用専門部会 (専門部会委員長 後藤正和 (三重大学生物資源学部、教授))

事業名 : ベンチャー総合補助金  
事業主体 : 財団法人三重県産業支援センター  
予算規模 : 20,000~50,000千円  
事業期間 : 平成15年度採択 (予算決定から1年以内)  
基になった研究シーズ : 一般家庭への普及を目的とした小型風力発電システムの開発  
研究者 : 山村直紀 (三重大学工学部、講師)  
基になったR S P活動 : 平成13年度育成試験

事業名 : 研究助成 (一般助成)  
事業主体 : 財団法人旗影会  
予算規模 : 1,000千円  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 分析用開発光試薬の開発  
研究者 : 寺西克倫 (三重大学生物資源学部 助教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験

事業名 : Academia Showcase  
事業主体 : 財団法人化学技術戦略推進機構  
予算規模 : 2,000千円  
事業期間 : 平成17年度  
基になった研究シーズ : 分析用開発光試薬の開発  
研究者 : 寺西克倫 (三重大学生物資源学部 助教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験

事業名 : 研究助成  
事業主体 : 岡三加藤文化振興財団  
予算規模 : 600~700千円程度  
事業期間 : 平成16年4月~平成17年3月  
基になった研究シーズ : 看護師スケジュールにおける制約条件を取り入れたコーディング方法に関する一考察  
研究者 : 吉川大弘 (三重大学工学部、助手)  
基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験

事業名 : 自然科学系研究助成 (奨励研究助成)

事業主体 : 旭硝子財団  
予算規模 : 2,000千円  
事業期間 : 平成15年度～16年度  
基になった研究シーズ : 新しい抗生物質の探索研究  
研究者 : 清水真(三重大学工学部、教授)、八谷巖(三重大学工学部、助教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験

事業名 : 研究助成  
事業主体 : 岡三加藤文化振興財団  
予算規模 : 600～700千円程度  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : 新しい抗生物質の探索研究  
研究者 : 清水真(三重大学工学部、教授)、八谷巖(三重大学工学部、助教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験

[目次に戻る](#) ・ [→高知県](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ② 諸事業に展開した例

#### 高知県

##### （1）文部科学省関係

事業名	： 地域結集型共同研究事業
事業主体	： 科学技術振興事業団／独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	： 6億円／年
事業期間	： 平成14年度～平成19年度（5年間）
基になった研究シーズ	： 次世代情報デバイス用薄膜ナノ技術の開発
研究者	： 平木 昭夫（高知工科大学、教授）
基になったRSP活動	： 平成13年度育成試験「高性能ナノダイヤモンド電子エミッタの室温形成法の開発」

事業名	： 独創的シーズ展開事業 委託開発
事業主体	： 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	： 2億円
事業期間	： 平成17年度～（44か月）
基になった研究シーズ	： 魚類冷水病ワクチン
研究者	： 大島 俊一郎（高知大学、助教授）
基になったRSP活動	： 平成15年度育成試験課題「激増するアユ、サケ科魚類の冷水病対策経口ワクチンの開発」、 平成16年度育成試験課題「魚類冷水病原因菌の異なる血清型に共通に存在する有効抗原の同定」

事業名	： JSTサテライト育成研究
事業主体	： 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	： 90,000千円

事業期間 : 平成17年度～平成19年度(3年間)  
基になった研究シーズ : 天然資源(枇杷種子由来エキス・室戸海洋深層水)を利用した健康飲料品の開発  
研究者 : 西岡 豊(高知大学、教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのシーズ調査活動による。

事業名 : JSTサテライト育成研究  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 90,000千円  
事業期間 : 平成17年度～平成19年度(3年間)  
基になった研究シーズ : 無電極マイクロ波放電を用いた無水銀紫外光源  
研究者 : 八田 章光(高知工科大学工学部電子・光システム工学科、教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのシーズ調査活動による。

事業名 : JSTサテライト育成研究  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 90,000千円  
事業期間 : 平成18年度～平成20年度(3年間)  
基になった研究シーズ : 柚子搾汁後残滓のエココンシャスな精油抽出・処理技術の開発  
研究者 : 沢村 正義(高知大学農学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験課題「ユズ果皮の有用成分の高度利用に関する研究」、平成15年度育成試験課題「ユズ精油の効率的抽出と有用成分の高度利用に関する開発」

事業名 : JSTサテライト育成研究  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 90,000千円  
事業期間 : 平成18年度～平成20年度(3年間)  
基になった研究シーズ : 固体発光性色素を活用した農園芸用波長変換被覆資材の開発  
研究者 : 吉田 勝平(高知大学理学部、教授)  
基になったRSP活動 : 平成16年度育成試験課題「波長選択光吸収・発光性色素の創出と農園芸用フィルム開発への応用」、平成17年度育成試験課題「波長変換型フィルム用発光色素の開発と農業への応用」

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度

基になった研究シーズ : 個人のHLA型に合わせたペプチド免疫療法の開発  
研究者 : 宇高 恵子 (高知大学医学部、教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : 選択的寒天オリゴ糖生産の制御  
研究者 : 有賀 修 (高知工科大学、助教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのシーズ発掘活動による。

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : 電源電流を用いたLSIの評価方式の研究  
研究者 : 真田 克 (高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : ヒノキオイルによるDEP造粒装置の開発と応用  
研究者 : 横川 明 (高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成17年度RSP育成試験候補課題

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : 低塩分濃度海水シャーベット氷の製造装置の開発  
研究者 : 池上 雅博 (高知工科大学、助手)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構

予 算 規 模 : 2, 0 0 0 千円以下  
事 業 期 間 : 1 7 年度  
基になった研究シーズ : 太陽光導入および有用細菌と微細藻類を収容したバイオリアクターの組み合わせによる内湾底質・水質の完全浄化  
研 究 者 : 深見 公雄 (高知大学大学院、教授)  
基になった R S P 活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事 業 名 : J S T サテライト可能性試験  
事 業 主 体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予 算 規 模 : 2, 0 0 0 千円以下  
事 業 期 間 : 1 7 年度  
基になった研究シーズ : バイオリメディエーションの新戦略 - エンザイム・オーグメンテーション -  
研 究 者 : 芦内 誠 (高知大学、助教授)  
基になった R S P 活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事 業 名 : J S T サテライト可能性試験  
事 業 主 体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予 算 規 模 : 2, 0 0 0 千円以下  
事 業 期 間 : 1 7 年度  
基になった研究シーズ : 植物のもつ複数遺伝子支配抵抗性誘導物質の構造解析とその抵抗機構の解明  
研 究 者 : 金 哲史 (高知大学、教授)  
基になった R S P 活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事 業 名 : J S T サテライト可能性試験  
事 業 主 体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予 算 規 模 : 2, 0 0 0 千円以下  
事 業 期 間 : 1 7 年度  
基になった研究シーズ : 内湾・湖沼底泥中の汚染指標となる硫化鉄量の迅速・現地測定装置の開発  
研 究 者 : 角 克宏 (高知工科大学、助教授)  
基になった R S P 活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事 業 名 : J S T サテライト可能性試験  
事 業 主 体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予 算 規 模 : 2, 0 0 0 千円以下

事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : ミクロ不均一構造を持つ高性能水処理剤  
研究者 : 古沢 浩 (高知工科大学、助教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : 新冷凍技術を利用した地域水産及び農産物の高品質保存法の開発  
研究者 : 北條 正司 (高知大学、教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : 抗菌・防かび性を兼ね備えた新規ハイブリッド材料の開発と特殊機能紙等への応用  
研究者 : 米村 俊昭 (高知大学、助教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : 亜臨界水処理による製紙スラッジの高速糖化に関する検討  
研究者 : 土居 俊房 (高知工業高等専門学校、助教授)  
基になったRSP活動 : 育成試験「製紙スラッジの高速L-乳酸醗酵複合プロセスの開発」の補完技術

事業名 : JSTサテライト可能性試験  
事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構  
予算規模 : 2,000千円以下  
事業期間 : 17年度  
基になった研究シーズ : 原子状水素を用いたレジスト除去の開発  
研究者 : 堀邊 英夫 (高知工業高等専門学校、教授)



基になったR S P活動 : 育成試験「オゾンを用いたレジスト剥離に関する研究」の補完新技術検討

事業名 : J S Tサテライト可能性試験

事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構

予算規模 : 2, 0 0 0千円以下

事業期間 : 1 7年度

基になった研究シーズ : 製紙スラッジのガス化によるエネルギー転換と有用チャーの回収に関する検討」

研究者 : 永橋 優純 (高知工業高等専門学校、教授)

基になったR S P活動 : 育成試験「製紙スラッジの高速L-乳酸醗酵複合プロセスの開発」の補完新技術

事業名 : シーズ育成試験

事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構

予算規模 : 2, 0 0 0千円

事業期間 : 1 7年度

基になった研究シーズ : 人工知能を用いた膀胱癌の光力学的診断における高精度診断装置の新規開発

研究者 : 井上 啓史 (高知大学、助教授)

基になったR S P活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : シーズ育成試験

事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構

予算規模 : 2, 0 0 0千円

事業期間 : 1 7年度

基になった研究シーズ : 近赤外光による経皮的リンパ観察装置の開発

研究者 : 木村 正廣 (高知工科大学、教授)

基になったR S P活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : シーズ育成試験

事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構

予算規模 : 2, 0 0 0千円

事業期間 : 1 7年度

基になった研究シーズ : 低損傷レーザー加工技術の開発と半導体デバイス製造技術への応用

研究者 : 池上 浩 (高知工業高等専門学校、助教授)

基になったR S P活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : 大学発プレベンチャー事業  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 20,000千円  
事業期間 : 平成14年度(3年間)  
基になった研究シーズ : 廃棄ガラスビンの多孔質軽量板・断熱材へのリサイクル技術の開発  
研究者 : 柳澤 和道(高知大学、教授)  
基になったRSP活動 : 科学技術コーディネータのコーディネート活動による。

事業名 : 特色ある大学教育支援プログラム事業  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 15,500千円  
事業期間 : 平成15年度～(4年間)  
基になった研究シーズ : 学生の多様化に対応した実践的技術者の育成  
研究者 : 坂本明雄(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 研究成果シーズ調査による

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 特定領域  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 3,000千円  
事業期間 : 平成15年度～(4年間)  
基になった研究シーズ : ナノサイズ構造及びアクティブ機能電極によるマイクロプラズマの高効率生成法  
研究者 : 八田 章光(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験課題「微細針状シリコン結晶の新合成方法とその応用」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 萌芽  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 3,000千円  
事業期間 : 平成15年度～(3年間)  
基になった研究シーズ : タンパク質の細胞内導入を目的とする細菌毒素を改造したナノマシンの分子設計  
研究者 : 榎本恵一(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成16年度育成試験課題「藻をタンパク質生産の場とした食餌ワクチンの開発」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 若手B  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 2,700千円  
事業期間 : 平成16年度～(2年間)

基になった研究シーズ : 液晶を駆動源としたモータの開発  
研究者 : 辻 知宏 (高知工科大学、助教授)  
基になったR S P活動 : 研究成果シーズ調査に係わる研究

事業名 : 科学研究費補助金 萌芽  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 3, 200千円  
事業期間 : 平成16年度～(2年間)  
基になった研究シーズ : 新規黄色ブドウ球菌特異的溶菌因子による  
MRSA/VRSA除菌・治療法の開発  
研究者 : 松崎 茂展 (高知大学、助教授)  
基になったR S P活動 : 研究成果シーズ調査に係わる研究

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 基盤C  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 3, 000千円  
事業期間 : 平成16年度～(2年間)  
基になった研究シーズ : 平成15年度育成試験「同時ドーピング法による硫化亜鉛の伝導制御と発光素子」  
研究者 : 岸本 誠一 (高知工科大学、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験「ZnS半導体のドナー・アクセプタ相互作用による電気・光特性ハイブリッド制御」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 萌芽  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 3, 200千円  
事業期間 : 平成16年度～(2年間)  
基になった研究シーズ : ファージ由来溶菌酵素を利用するメチシリン耐性黄色ブドウ球菌院内感染制御  
研究者 : 藤枝幹也 (高知大学、助教授)、松崎茂展 (高知大学、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験「バクテリオファージ由来用菌酵素を利用する多剤耐性食黄色ブドウ球菌除菌法の開発」

事業名 : 文部科学省大学改革推進経費  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 1, 100千円  
事業期間 : 平成17年2月～3月  
基になった研究シーズ : 海洋深層水で培養した藻類の有効成分利用技術の開発

研究者 : 富永 明 (高知大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成13年度育成試験「海洋深層水で培養した藻類の有効成分利用技術の開発」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 萌芽  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 2,200千円  
事業期間 : 平成16年度～(2年間)  
基になった研究シーズ : ファージ由来溶菌酵素を利用するメチシリン耐性黄色ブドウ球菌院内感染制御  
研究者 : 遠藤 文香 (高知大学)  
基になったR S P活動 : 研究成果シーズ調査

事業名 : 特別教育研究経費区分1研究推進経費  
(グリーンサイエンス特別研究プロジェクト)  
事業主体 : 文部科学省 予算規模:100,000千円  
事業期間:3年間  
予算規模 : 1億円  
事業期間 : 平成17年度～(3年間)  
基になった研究シーズ : 1) 魚類冷水病に対するワクチンの開発、  
2) バクテリオファージ由来溶菌酵素を利用する治療法、  
3) 波長選択発光性フィルムの園芸への応用、  
4) 水熱反応を利用した機能性無機材料の開発  
研究者 : 1) 大島 俊一郎 (高知大学、助教授)、  
2) 今井 章介 (高知大学 教授)、  
3) 吉田 勝平 (高知大学、教授)、  
4) 柳沢 和道 (高知大学 教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験「激増するアユ、サケ科魚類の冷水病対策経口ワクチンの開発」  
平成16年度育成試験「魚類冷水病原菌の異なる血清型に共通に存在する有効抗原の同定」  
平成17年度育成試験「ブリの類結節症に対する実用的なワクチンの開発」  
平成16年度育成試験「バクテリオファージ由来溶菌酵素を利用する多剤耐性食黄色ブドウ球菌除菌法の開発」  
平成16年度育成試験「波長選択光吸収・発行性色素の創出と農園芸フィルム開発への応用」  
平成17年度育成試験「波長変換型フィルム用発光色素の開発と農業への応用研究」  
平成13年度育成試験「水熱反応を利用した機能性無機材料粉末の形態制御法」  
平成14年度育成試験「水熱反応を利用した機能性無機材料粉末の形態制御法の開発」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 特定領域  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 4, 200千円  
事業期間 : 平成17年度～(2年間)  
基になった研究シーズ : 左脳の論理的思考力と右脳の形象的想像力を生かす  
創造性育成法の開発  
研究者 : 王 碩玉 (高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 研究成果シーズ調査

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 特定研究  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 14, 700千円  
事業期間 : 2年間  
基になった研究シーズ : 液晶駆動型マイクロアクチュエータの開発  
研究者 : 蝶野 正臣 (高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成16年度育成試験「液晶注入解析用ソフトウェアの開発」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 基盤B  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 15, 600千円  
事業期間 : 平成17年度～(2年間)  
基になった研究シーズ : 液晶のメカニクスとマイクロアクチュエータへの展開  
研究者 : 蝶野 正臣 (高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成16年度育成試験「液晶注入解析用ソフトウェアの開発」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 基盤B  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 15, 300千円  
事業期間 : 平成17年度～(3年間)  
基になった研究シーズ : ウエアラブルな床反力センサおよびモーションセンサを用いた下肢の運動解析技術  
研究者 : 井上 喜雄 (高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験「科学的リハビリのための簡易型足底圧センサによる関節にかかる力、モーメント測定装置の開発」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 基盤C  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 3, 200千円

事業期間 : 平成17年度～(2年間)  
基になった研究シーズ : セルフタイム回路による組込み型ファイアウォール・プロセッサ  
研究者 : 岩田 誠 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験「データ駆動型高速ネットワークプロセッサの高機能化」

事業名 : 文部科学省科学研究費補助金 基盤C  
事業主体 : 文部科学省  
予算規模 : 2,100千円  
事業期間 : 平成17年度～(2年間)  
基になった研究シーズ :  
研究者 : 竹内 彰敏 (高知工科大学、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験「超音波法を用いた転がり軸受の新しい潤滑診断技術」

[目次に戻る](#) ・ [→次へ \(2/2\)](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ② 諸事業に展開した例

#### 高知県

##### （2）経済産業省関係

事業名	： 地域新生コンソーシアム事業（中小企業枠）
事業主体	： 経済産業省
予算規模	：
事業期間	： 平成14年度～
基になった研究シーズ	： 高速応答自己再生プレーナー型避雷器の開発
研究者	： 河東田 隆（高知工科大学、教授）
基になったRSP活動	： 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。 育成試験候補課題

事業名	： 地域新生コンソーシアム事業（中小企業枠）
事業主体	： 経済産業省
予算規模	： 40,000千円
事業期間	： 平成15年度～（2年間）
基になった研究シーズ	： 海洋深層水濃縮廃水からの高効率製塩法の開発
研究者	： 総括研究代表者 田本 久（室戸海洋深層水株式会社、代表取締役）、横川 明（高知工科大学、教授）
基になったRSP活動	： 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名	： 地域新生コンソーシアム事業（中小企業枠）
事業主体	： 経済産業省
予算規模	：

事業期間 : 平成15年度～  
基になった研究シーズ : 環境保全のための無水銀光源システムの開発と実用化  
研究者 : 八田 章光 (高知工科大、教授)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 創造技術研究開発事業  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 :  
事業期間 : 平成15年度～  
基になった研究シーズ : 新しい歯科用セラミックス材料の開発  
研究者 : 山本貴金属地金株式会社  
基になったRSP活動 : 企業に対する技術ニーズ調査による。

事業名 : 地域新規産業創造技術開発費補助事業  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 35,000千円  
事業期間 : 平成15年度～(2年間)  
基になった研究シーズ : 橋梁工事におけるワンタッチ伸縮梁の研究開発  
研究者 : 横川 明 (高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : ベンチャー・サポートウェア事業  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 10,000千円  
事業期間 : 平成15年度～  
基になった研究シーズ : 耐震工コ建築鉄骨の研究開発  
研究者 : 内田 昌克 (高知大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度育成試験「高耐震性建築鉄骨製作法の開発」

事業名 : 中小企業・ベンチャー挑戦支援事業「スタートアップ支援事業」(実用化研究開発)  
事業主体 : 中小企業庁  
予算規模 : 2/3補助 12,000千円  
事業期間 : 平成15年度～  
基になった研究シーズ : 転倒しない高機能歩行訓練機の開発  
研究者 : 王 硯玉 (高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験「転倒防止できる全方向移動型歩行訓練機」



事業名 : 中小企業経営革新等対象補助金  
「IT活用型経営革新モデル事業」(経営革新支援事業)

事業主体 : 中小企業庁

予算規模 : 34,650千円

事業期間 : 平成16年度

基になった研究シーズ : インターネット(IT)活用による経営改革  
工作機械の遠隔操作による加工システム等の開発

研究者 : 小林和彦(高知工科大学、教授)

基になったRSP活動 : 研究成果シーズ調査による育成試験候補課題

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業

事業主体 : 経済産業省

予算規模 : 150,000千円

事業期間 : 平成16年度～(2年間)

基になった研究シーズ : 酸化物半導体中の設計的原子操作のための装置およびプロセス開発

研究者 : 山本 哲也(高知工科大学、教授)

基になったRSP活動 : 平成15年度育成試験「ZnS半導体のドナー・アクセプタ相互作用による電気・光特性ハイブリッド制御」

事業名 : 新連携対策委託事業「パイロット事業」

事業主体 : 中小企業庁・四国経済産業局(経済産業省)

予算規模 : 165,290千円

事業期間 : 平成16年度～(2年間)

基になった研究シーズ : 魚等の鮮度保持シート及び抗菌・消臭シートの開発

研究者 : 森澤 純(高知県立紙産業技術センター、主任研究員)、林 幸男(同所長)

基になったRSP活動 : 平成16年度育成試験「天然物由来の加工薬品を用いた紙・不織布加工技術の研究」

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業

事業主体 : 経済産業省

予算規模 : 75,000千円

事業期間 : 平成17年度～平成18年度

基になった研究シーズ : 保湿不織布による介護ケアシートの開発

研究者 : 松本 博(高知県立紙産業技術センター、不織布・加工部部長)ほか

基になったRSP活動 : 平成16年度育成試験「天然物由来の加工薬品を用いた紙・不織布加工技術の開発」

事業名 : 大学発事業創出実用化研究開発事業  
事業主体 : 独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
(NEDO)  
予算規模 : 15,120千円  
事業期間 : 平成14年度(1年間)  
基になった研究シーズ : 魚類冷水病に対するワクチン開発  
研究者 : 大島俊一郎(高知大学、助教授)  
基になったRSP活動 : 大学の先生方の研究シーズ調査及びネットワークによる。

事業名 : 産業技術助成事業(若手研究者育成 第2次)  
事業主体 : NEDO  
予算規模 : 52,000千円  
事業期間 : 平成16年度~(3年間)  
基になった研究シーズ : パルスプラズマによる有機基板高性能TFETの開発  
研究者 : 古田 寛(高知工科大学、助手)  
基になったRSP活動 : 研究成果シーズ調査による育成試験候補課題

事業名 : 産業技術研究助成事業  
事業主体 : NEDO  
予算規模 : 48,000千円  
事業期間 : 平成16年度~(3年間)  
基になった研究シーズ : オゾンを用いたレジスト剥離に関する研究開発  
研究者 : 堀邊 英夫(高知工業高等専門学校、助教授)  
基になったRSP活動 : 平成16年度育成試験「オゾンを用いたレジスト剥離に関する研究開発」

### (3) その他省庁関係

事業名 : 生物系産業創出のための異分野融合研究支援事業  
(起業化促進型)  
事業主体 : 独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構  
予算規模 : 50,000千円  
事業期間 : 平成16年度~(2年間)  
基になった研究シーズ : 木質系資源から高密度炭製造と還元用コークスへの  
応用  
研究者 : 坂輪 光弘(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 研究成果シーズ調査による育成試験候補課題

事業名 : 戦略的情報通信研究開発推進制度  
研究主体育成型研究開発・地域情報通信技術振興研  
究開発  
事業主体 : 総務省

予 算 規 模 : 24,000千円  
事 業 期 間 : 平成16年度～(3年間)  
基になった研究シーズ : 地域が自立・自律してインターネットを運用するための技術の実証的研究  
研 究 者 : 菊地 豊(高知工科大学、助教授)  
基になったR S P活動 : 研究成果シーズ調査による育成試験候補課題

事 業 名 : 「ブランドニッポン」加工食品供給促進等技術開発事業  
事 業 主 体 : 農林水産省  
予 算 規 模 : 11,566万円  
事 業 期 間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 果皮機能成分を多く含む柚子搾汁製造技術の開発  
研 究 者 : 沢村 正義(高知大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成14年度・15年度育成試験「高品質ユズ精油の製造に関する試験研究」

事 業 名 : 厚生労働科研費  
事 業 主 体 : 厚生労働省  
予 算 規 模 : 5,000千円  
事 業 期 間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 研究成果シーズ調査による  
研 究 者 : 佐藤 隆幸(高知大学、教授)、牛田 亨宏(高知大学、講師)  
基になったR S P活動 : 研究成果シーズ調査に係わる研究

事 業 名 : 厚生労働科研費  
厚生科学基盤研究分野・萌芽的先端医療技術推進研究(ナノメディシン分野)  
事 業 主 体 : 厚生労働省  
予 算 規 模 : 34,800千円  
事 業 期 間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 研究成果シーズ調査による  
研 究 者 : 谷 俊一(高知大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験「脊髄刺激による周術期自動血圧管理システムの開発」

#### (4) 都道府県単独事業およびその他事業

事 業 名 : 創造的技術シーズ開発事業  
事 業 主 体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予 算 規 模 : 500千円  
事 業 期 間 : 平成14年度

基になった研究シーズ : 無線LAN用パッシブリピータ(受動型中継器)の実用型研究  
研究者 : 蝶野 正臣(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : コーディネータによるシーズ・ニーズ調査

事業名 : 創造的技術シーズ開発事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 500千円  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : ナノサイズ構造及びアクチブ機能電極によるマイクロプラズマの高効率生成法  
研究者 : 八田 章光(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 大学のシーズ調査等による人的ネットワーク。

事業名 : 創造的技術シーズ開発事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 500千円  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 発光素子化を目指したZnSの発光と伝導性の同時制御  
研究者 : 岸本 誠一(高知工業高等専門学校、助教授)  
基になったRSP活動 : 大学のシーズ調査等による人的ネットワーク

事業名 : 創造的技術シーズ開発事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 500千円  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 紫外光発生用非線形光学結晶性評価技術に関する研究  
研究者 : 神村 共住(高知工業高等専門学校、助手)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 創造的技術シーズ開発事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 500千円  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : 自動角度調整により高効率化した太陽光発電による電源装置の開発  
研究者 : 野村 弘(高知工業高等専門学校、教授)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 企業提案型共同研究事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 12,670千円(2/5補助)  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 歯科用ハイブリッドセラミックスの開発  
研究者 : 山本貴金属地金株式会社、山本 順(高知県工業技術センター)、河野敏夫(高知県工業技術センター)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 企業提案型共同研究事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 1,220千円(27%補助)  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : カツオの即殺脱血装置の開発  
研究者 : 本川高男(高知県工業技術センター、生産情報部部长)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 企業提案型共同研究事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 5,870千円(1/3補助)  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 無線(パケット)通信の機能をもつ2線式多点計測制御及び遠隔監視・通報システムの研究開発  
研究者 : 山口 巧(高知工業高等専門学校、講師)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 企業提案型共同研究事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 9,320千円(64%補助)  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 地域分散電源用風力発電システムの研究開発  
研究者 : 今井 一雅(高知工業高等専門学校、教授)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 企業提案型共同研究事業

事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 10,760千円(2/3補助)  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 高速プロトタイプ作成システムを利用した複雑形状部品の迅速試作の研究  
研究者 : 坂本 東男(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 企業提案型共同研究事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 3,620千円(2/3補助)  
事業期間 : 平成14年度  
基になった研究シーズ : 薄膜コイルの開発  
研究者 : 成沢 忠(高知工科大学、教授)、神戸 宏(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 企業提案型共同研究事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 2,850千円(2/3補助)  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : 植物油及び食用廃油のエマルジョン燃料化技術の研究  
研究者 : 南 一郎(岩手大学助、教授)  
基になったRSP活動 : 環境調和型潤滑剤としてRSP育成試験を担当された中で、出てきた研究成果。

事業名 : 企業提案型共同研究事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 3,000千円(2/3補助)  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : 単細胞海藻多糖を用いた携帯型簡易浄水剤の開発  
研究者 : 向畑 恭男(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度育成試験「藻多糖と廃パルプを利用した簡易浄水剤の開発」

事業名 : 企業提案型共同研究事業  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 13,000千円(2/3補助)  
事業期間 : 平成15年度

基になった研究シーズ : 転倒防止できる全方向型移動訓練機  
研究者 : 王 碩玉 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験「転倒防止できる全方向型移動訓練機」

事業名 : 高知県中小企業創造活動促進事業費補助金  
事業主体 : 高知県  
予算規模 : 6,000千円 (2/3補助)  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : 耐震工口鉄骨建築の研究開発  
研究者 : 内田 昌克 (高知大学、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成13年度育成試験「高耐震性鉄骨製作法の開発」

事業名 : 高知県中小企業創造活動促進事業費補助金  
事業主体 : 高知県  
予算規模 : 15,000千円 (2/3補助)  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : バイオマスエネルギー利用によるヒノキオイル及び柚子オイル抽出並びに自然エネルギー利用  
研究者 : 坂本 東男 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : 研究シーズの調査及び直接懇談等で形成したネットワークによる。

事業名 : 高度情報通信網整備事業「ブロードバンド整備検討会」  
事業主体 : 高知県  
予算規模 : 30,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 無線LANによる地域情報化ネットワークの開発  
研究者 : 今井 一雅 (高知工業高等専門学校、教授)  
基になったR S P活動 : 平成13年度・14年度育成試験「無線LANによる地域情報化ネットワークの研究」

事業名 : 企業提案型共同研究費補助金  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 2,460千円 (1/2補助)  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : 高齢者・身障者向け文書型マンマシーン・インターフェースの研究  
研究者 : 豊永 雅彦 (高知大学、教授)  
基になったR S P活動 : 研究成果シーズ調査

事業名 : 企業提案型共同研究費補助金  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 4,330千円(1/3補助)  
事業期間 : 平成15年度  
基になった研究シーズ : プロアントシアニン、トレハロースを主成分とした鮮魚・魚の切り身の鮮度を保持するシートの開発  
研究者 : 河野 雅弘(高知工科大学、教授)、森沢 純(高知県立紙産業技術センター、主任研究員)  
基になったRSP活動 : 研究成果シーズ調査

事業名 : 高知県中小企業創造活動促進事業費補助金  
事業主体 : 高知県および中小企業庁  
予算規模 : 5,270千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ :  
研究者 : 王 碩玉(高知工科大学、教授)  
基になったRSP活動 : 育成試験候補課題

事業名 : 高知県理科教材補助事業  
事業主体 : 高知県  
予算規模 : 1,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 微生物酵素による高βグルカンの応用に関する研究開発  
研究者 : 永田 信治(高知大学、教授)  
基になったRSP活動 : 平成14年度育成試験「微生物酵素による高β—グルカン含有真菌類の加工と定量に関する研究」

事業名 : 高知県単独補助事業(事業名)  
事業主体 : 高知県  
予算規模 : 1,000千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 無線LAN地域情報化ネットワークの開発  
研究者 : 今井 一雄(高知工業高等専門学校、教授)  
基になったRSP活動 : 平成13年度・14年度育成試験「無線LANによる地域情報化ネットワークの研究」

事業名 : 企業提案型共同研究費補助金  
事業主体 : 財団法人高知県産業振興センター  
予算規模 : 2,460千円  
事業期間 : 平成16年度



基になった研究シーズ : 波長選択光吸収・発光性色素の創出と農園芸用フィルム開発への応用  
研究者 : 吉田 勝平 (高知大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験「波長選択光吸収・発光性色素の創出と農園芸用フィルム開発への応用」、平成17年度育成試験「波長変換型フィルム用発光色素の開発と農業への応用」

事業名 : 共同研究  
事業主体 : 独立行政法人理化学研究所  
予算規模 : 63,000千円  
事業期間 : 平成16年度～(3年間)  
基になった研究シーズ : 海洋深層水と単細胞緑藻を利用したコラーゲンタンパクの生産  
研究者 : 大濱 武 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験「海洋深層水と単細胞緑藻を利用したコラーゲン蛋白の生産」

事業名 : 三菱財団 社会福祉事業助成  
事業主体 : 財団法人三菱財団  
予算規模 : 2,100千円  
事業期間 : 平成16年度  
基になった研究シーズ : 平行棒付自動小径回転円盤と自動起立・着座機による在宅巡回移乗介護装置の開発  
研究者 : 横川 明 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成13年度育成試験「便座と車椅子間の回旋移乗式自動介助装置の開発」

[目次に戻る](#) ・ [→熊本県](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ② 諸事業に展開した例

#### 熊本県

##### （1）文部科学省関係

事業名	: 委託開発事業（H13）
事業主体	: 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	: 約80,000千円
事業期間	: 約1年
基になった研究シーズ	: ホスホエノールピルビン酸（PEP）の賦活効果
研究者	: 濱崎直孝 九州大学医学部教授
基になったRSP活動	: 熊本県ライフサイエンス調査事業に関連したコーディネート活動で提案アドバイス

事業名	: 研究成果最適移転事業（独創モデル化）
事業主体	: 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	: 約25,000千円
事業期間	: H15年度
基になった研究シーズ	: イムノアッセイ法によるシガテラ毒検出法
研究者	: 平間正博 東北大学大学院教授
基になったRSP活動	: 熊本県ライフサイエンス調査事業に関連したコーディネート活動で本事業を紹介

事業名	: 大学発ベンチャー創出推進事業
事業主体	: 独立行政法人科学技術振興機構
予算規模	: 総額約1億円
事業期間	: H15～H17
基になった研究シーズ	: スイッチトキャパシタ電源に関する技術
研究者	: 太田一郎 熊本電波高専教授

基になったR S P活動 : 情報通信分野に関するコーディネート活動

事業名 : シーズ育成試験

事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構

予算規模 : 2,000千円

事業期間 : H17

基になった研究シーズ : パルスパワー発生技術

研究者 : 勝木 淳 大学院自然科学研究科助教授

基になったR S P活動 : 情報通信分野に関するコーディネート活動

事業名 : シーズ育成試験

事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構

予算規模 : 2,000千円

事業期間 : H17

基になった研究シーズ : 免疫系におけるGANPの抗体親和性成熟に関する研究

研究者 : 桑原 一彦 熊本大学大学院医学薬学研究部講師

基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : シーズ育成試験

事業主体 : 独立行政法人科学技術振興機構

予算規模 : 2,000千円

事業期間 : H17

基になった研究シーズ : 末梢のリンパ組織の胚中心で発現する蛋白質脱リン酸化酵素G5PRに関する研究

研究者 : 坂口 薫雄 熊本大学医学薬学研究部教授

基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 都市エリア産学官連携促進事業(成果育成型)

事業主体 : 文部科学省

予算規模 : 年間約1.4億円

事業期間 : H14~16

基になった研究シーズ : 地域結集型共同研究成果

研究者 : 生野浩正、谷口功、久保田弘、熊本大学工学部教授、入江徹美 熊本大学薬学部教授、中潟直己 熊本大学教授ほか

基になったR S P活動 : 地域結集型共同研究のフォロー過程における提案段階での支援活動

事業名 : 都市エリア産学官連携促進事業(一般型)

事業主体 : 文部科学省

予算規模 : 年間約1億円

事業期間	: H15～17
基になった研究シーズ	: 地域先導研究におけるバイオマス高度処理技術及び大豆煮汁からの有用成分抽出、色落ち海苔からの有用成分抽出
研究者	: 岩原正宜 崇城大学教授、浅川牧夫 熊本大学教授、森村茂 熊本大学助教授ほか
基になったRSP活動	: 平成14年度育成試験「大豆煮汁からの有効食品の製造」平成13年度海藻ノリ中の機能性有効成分の抽出・精製法の開発

## (2) 経済産業省関係

事業名	: 課題対応型研究開発事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 25,000千円
事業期間	: H13年度
基になった研究シーズ	: 中潟直己熊本大学教授のマウスの精子の凍結保存技術
研究者	: 井上聖也 アークリソース株式会社代表取締役
基になったRSP活動	: 熊本県ライフサイエンス調査事業に関連したコーディネート活動にて提案支援

事業名	: 即効型地域新規産業創造技術開発費補助金事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 40,000千円(2/3補助)
事業期間	: 平成13年度補正予算で平成14年度実施
基になった研究シーズ	: 中潟直己 熊本大学教授のマウスの精子の凍結保存技術
研究者	: 井上聖也 アークリソース株式会社代表取締役
基になったRSP活動	: 熊本県ライフサイエンス調査事業に関連したコーディネート活動にて提案支援及び実施支援

事業名	: 大学発事業創出実用化研究開発事業
事業主体	: 経済産業省
予算規模	: 45,000千円
事業期間	: H14年度
基になった研究シーズ	: 高分子微粒子吸着剤を用いたLPS・核酸の選択的除去技術
研究者	: 平山忠一 熊大教授他
基になったRSP活動	: 熊本県ライフサイエンス調査事業に関連したコーディネート活動にて提案支援及び実施支援

事業名 : 創造技術研究開発費補助金事業  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 10,000千円  
事業期間 : H14年度  
基になった研究シーズ : ネットワーク型RSP事業の平成12年度可能性試験  
研究者 : 山下和貴 サンワハイテック株式会社代表取締役、  
蛸原健治 熊本大学教授  
基になったRSP活動 : 新製造分野におけるコーディネート活動

事業名 : 地域新規産業創造技術開発費補助事業  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 30,000千円  
事業期間 : H14年度  
基になった研究シーズ : 低温乾燥技術（企業のシーズ）  
研究者 : 高岡正人 エーキューエム九州テクノス株式会社代表取締役  
基になったRSP活動 : ネットワーク型RSP事業「衝撃波殺菌技術」技術移転に関連したコーディネート活動

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業：中小企業枠  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 30,000千円  
事業期間 : H14年度  
基になった研究シーズ : 熊本大学工学部伊原博隆教授のコロイダルセルロースに関する技術  
研究者 : 伊原博隆 熊本大学工学部教授  
基になったRSP活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業：中小企業枠  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 30,000千円  
事業期間 : H14年度  
基になった研究シーズ : 高い効率の半導体微粒子製造プロセスの開発研究  
研究者 : 前田秀明 独立行政法人産業技術総合研究所九州センター  
基になったRSP活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 大学発事業創出実用化研究開発事業  
事業主体 : NEDO  
予算規模 : 90,000千円  
事業期間 : 平成14年度補正予算で平成15年度実施

基になった研究シーズ : 高親和性抗体産出G A N P 遺伝子導入マウス作成技術  
研究者 : 坂口薫雄 熊本大学教授  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業：一般枠  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 約1.5億円  
事業期間 : H15～16年度  
基になった研究シーズ : 医療・環境分析用マイクロフローチップの開発  
研究者 : 清水 肇 独立行政法人産業技術総合研究所九州センターマイクロ空間科学研究ラボ長  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 地域新生コンソーシアム研究開発事業：一般枠  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 約1.5億円  
事業期間 : H15～16年度  
基になった研究シーズ : 乳酸菌由来バクテリオシンを利用した感染症予防抗菌剤  
研究者 : 園元謙二 九州大学大学院農学研究院教授  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 産業技術研究助成事業  
事業主体 : N E D O  
予算規模 : 50,000千円  
事業期間 : H15～17年度  
基になった研究シーズ : 高分子吸着剤に関する技術  
研究者 : 坂田真砂代 熊本大学助手  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 中小企業・ベンチャー挑戦支援事業のうち実用化研究開発事業  
事業主体 : 経済産業省  
予算規模 : 15,000千円  
事業期間 : H16年度  
基になった研究シーズ : 小型排水リサイクル装置とスラッジ再利用システム  
研究者 : 金森秀一 緒方工業株式会社代表取締役  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 創造技術研究開発事業

事業主体 : 九州経済産業局  
予算規模 : 45,000千円  
事業期間 : H16年度  
基になった研究シーズ : GANP遺伝子導入マウスを用いた創薬ターゲット候補分子GPCR (G protein coupled receptor) に対する高親和性抗体創出技術  
研究者 : 坂口薫雄 熊本大学教授、坂本珠美 株式会社イムノキック社長  
基になったRSP活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

(3) その他省庁関係  
なし

(4) 都道府県単独事業およびその他事業

事業名 : 新事業創出促進研究開発事業 (産学連携枠)  
事業主体 : くまもとテクノ産業財団  
予算規模 : 15,000千円  
事業期間 : H13年度  
基になった研究シーズ : 遺伝子改変マウスの精子・胚凍結保存技術  
研究者 : 中潟直己 熊本大学教授  
基になったRSP活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : 新事業創出促進研究開発事業 (産学連携枠)  
事業主体 : くまもとテクノ産業財団  
予算規模 : 15,000千円  
事業期間 : H14年度  
基になった研究シーズ : 衝撃波殺菌技術  
研究者 : 藤原和人 熊本大学助教授  
基になったRSP活動 : ネットワーク型RSP事業可能性試験成果の技術移転のフォロー

事業名 : 新事業創出促進研究開発事業 (産学連携枠)  
事業主体 : くまもとテクノ産業財団  
予算規模 : 15,000千円  
事業期間 : H14年度  
基になった研究シーズ : 焼酎カスからの成分抽出技術  
研究者 : 上岡龍一 崇城大学教授  
基になったRSP活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : バイオ産学官共同研究等助成事業事業  
事業主体 : くまもとテクノ産業財団

予 算 規 模 : 1, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 4 年度  
基になった研究シーズ : 蛍光剤による微生物検出技術  
研 究 者 : 黒崎博雅 熊本大学助教授  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事 業 名 : バイオ産学官共同研究等助成事業事業  
事 業 主 体 : くまもとテクノ産業財団  
予 算 規 模 : 1, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 4 年度  
基になった研究シーズ : 蛋白質作成技術  
研 究 者 : 斉藤寿人 熊本大学助教授  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事 業 名 : バイオ産学官共同研究等助成事業事業  
事 業 主 体 : くまもとテクノ産業財団  
予 算 規 模 : 1, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 4 年度  
基になった研究シーズ : 遺伝子改変マウス作成技術  
研 究 者 : 坂口薫雄 熊本大学教授  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事 業 名 : ライフサイエンス調査研究事業  
事 業 主 体 : 熊本県  
予 算 規 模 : 1, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 5 年度  
基になった研究シーズ : 微量元素と生体分析技術  
研 究 者 : 甲斐広文 熊本大学教授  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事 業 名 : ライフサイエンス調査研究事業  
事 業 主 体 : 熊本県  
予 算 規 模 : 1, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 5 年度  
基になった研究シーズ : バイオマスの有効利用に関する技術  
研 究 者 : 木田健次 熊本大学教授  
基になったR S P活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事 業 名 : ライフサイエンス調査研究事業  
事 業 主 体 : 熊本県



予 算 規 模 : 1, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 5 年度  
基になった研究シーズ : プロテオーム解析に関する技術  
研 究 者 : 堀内正公 熊本大学教授  
基になった R S P 活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事 業 名 : バイオ産学官共同研究等助成事業事業  
事 業 主 体 : くまもとテクノ産業財団  
予 算 規 模 : 2, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 6 ~ 1 7 年度  
基になった研究シーズ : 衝撃波による粉体殺菌技術  
研 究 者 : エーキューエム九州テクノス株式会社高岡正人社長  
(H 1 6 ~ 1 7 年度)、熊本大学伊東繁教授、崇城  
大学岩原正宜教授 (H 1 7 年度)  
基になった R S P 活動 : 粉末食品の衝撃波による殺菌メカニズムの解明と効  
率的殺菌方法の確立

事 業 名 : 熊本県創造技術研究開発費補助金  
事 業 主 体 : 熊本県  
予 算 規 模 : 1, 8 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 6 年度  
基になった研究シーズ : 誤嚥防止システム  
研 究 者 : 村山伸樹 熊本大学教授  
基になった R S P 活動 : 平成 1 5 年度育成試験 {誤嚥防止システムの開発}

事 業 名 : バイオ産学官共同研究等助成事業事業  
事 業 主 体 : くまもとテクノ産業財団  
予 算 規 模 : 2, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 6 年度  
基になった研究シーズ : 温熱療法に関する研究  
研 究 者 : 甲斐広文 熊本大学教授  
基になった R S P 活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事 業 名 : バイオ産学官共同研究等助成事業事業  
事 業 主 体 : くまもとテクノ産業財団  
予 算 規 模 : 1, 0 0 0 千円  
事 業 期 間 : H 1 7 年度  
基になった研究シーズ : 遺伝子改変マウスの作成技術  
研 究 者 : 岡田誠治 熊本大学教授  
基になった R S P 活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : バイオシーズ調査研究事業  
事業主体 : 熊本県（くまもとテクノ産業財団）  
予算規模 : 2,700千円  
事業期間 : H17年度  
基になった研究シーズ : GANP 遺伝子の機能解析技術  
研究者 : 桑原一彦 熊本大学講師  
基になったRSP活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : バイオシーズ調査研究事業  
事業主体 : 熊本県（くまもとテクノ産業財団）  
予算規模 : 2,700千円  
事業期間 : H17年度  
基になった研究シーズ : 生物活性、抗酸化能、構造解析等に関する研究知見  
研究者 : 井越敬司 九州東海大学教授  
基になったRSP活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

事業名 : バイオシーズ調査研究事業  
事業主体 : 熊本県（くまもとテクノ産業財団）  
予算規模 : 2,700千円  
事業期間 : H17年度  
基になった研究シーズ : 土壌病害「青枯病」に対する耐病性に及びナスの属  
野生種に関する研究知見  
研究者 : 松添直隆 熊本県立大学助教授  
基になったRSP活動 : ライフサイエンスに関するコーディネート活動

[目次に戻る](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ③ 実用化・商品化・起業化された事例

#### 群馬県

##### （1）実用化されたもの

技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販まで至っていないもの。

製品（技術）概要	： 循環社会適応型のハイブリッド廃水処理システム。フォロワーアップ組織「循環水処理技術研究会」を中心に参加企業5社の事業に展開。受注生産となるため、保有技術に応じて物件ごとに各企業が対応することを基本に体制整備を図っている。
基になった研究シーズ	： 生物・電気化学ハイブリッド技術による排水の高度処理及び物理化学・電気化学ハイブリッド技術による排水からの有価物の回収
研究者	： 黒田正和（群馬大学 教授）
基になったRSP活動	： 「省エネルギー型高度水処理装置の開発」（可能性試験 H11-05）
企業	： 平成13年度 経済産業省 即効型地域新生コンソーシアム「循環社会適応型のハイブリッド廃水処理システムの開発」参加企業5社

製品（技術）概要	： マグネシウム合金用切削油。専用湿式集塵機の削除や、最終安定処理不要といった効果を得られることを確認した。商品化に向けて、適用上の検証を継続中。
基になった研究シーズ	： マグネシウム切削における発火や爆発、ダイオキシン発生条件下における最適条件の探索、特に水溶性切削油と回収装置に関する研究。
研究者	： 田中章夫（日本省力機械株式会社 代表取締役社長）
基になったRSP活動	： 「マグネシウム合金用切削油の開発」（可能性試験 H12-01）

企業	: 日本省力機械株式会社
製品（技術）概要	: 平成13年度 即効型地域新生コンソーシアムによる研究「無線LANを用いた移動型高速インターネット動画利用装置の開発」に参加して得られた技術を、当該社のデジタル信号処理・インターネット通信に活用。
基になった研究シーズ	: 「実装可能なブラインド等化器の基礎理論の解析」 「高速周波数ホッピング技術による無線アクセス」
研究者	: ① 松本浩樹（前橋工科大学 講師） ② 堀越淳（前橋工科大学 教授）
基になったRSP活動	: ① 「移動体通信とインターネットのためのブラインド等化器の実時間処理特性の解明」（可能性試験H12-09） ② 「無線を用いたデータ収集システムのためのアクセス・ネットワーク系の研究」（育成試験H13-01）
企業	: 株式会社スペクトラ

製品（技術）概要	: 平成13年度即効型地域新生コンソーシアム「食品産業廃棄物を利用した新規生分解性樹脂の製造と製品化技術」にて研究を継続し、試作段階まで進行している。成形性に改善課題が残っている他、コスト面の問題がある。
基になった研究シーズ	: 飛粉含有率を変化させ調整した弾性率及び生分解性の異なるポリウレタンの製造技術。
研究者	: 瀧上昭治（群馬大学 助教授）
基になったRSP活動	: 「コンニャク飛粉を利用した生分解性ポリウレタンの製造に関する研究」（可能性試験H12-07）
企業	: 株式会社昭和通商

製品（技術）概要	: 機械加工技術の最適化に対する品質工学手法の有効性が確認できた。その実例を用いた地域企業を対象とした講習会の開催から生産加工技術研究会の発足にも寄与し、品質工学手法の活用を図る地域企業の活動として定着してきている。
基になった研究シーズ	: 加工の機能性評価法、作業能率の評価法
研究者	: 星野照彦（群馬大学 助教授）、久米原宏之（群馬大学工学部 教授）、星野雅俊（群馬大学 客員教授）
基になったRSP活動	: 「品質工学手法による機械加工技術の最適化」（可能性試験H12-08）
企業	: 生産加工研究会参加企業

製品（技術）概要	: 中小企業地域新生コンソーシアム研究開発事業（平成14年度）「軽合金への表面処理技術の開発」を経て技術確立した。顧客開拓活動に向けたPR資料作成のため、品質データや耐久試験データ準備を進めている。
基になった研究シーズ	: 耐熱性ろう材（インサート）材の開発
研究者	: 伊藤勲（群馬大学工学部 教授）

基になった R S P 活動 : 「セラミックと金属の耐熱性新接合法の開発」 (可能性試験 H 1 1 - 0 3)

企業 : 株式会社ショーダククリエイティブ

製品 (技術) 概要 : 半導体移送装置として比較的大型のリニアモータを得意としている当該社として、永久磁石の効率を考慮した極形状の最適化をはかる技術を修得した。

基になった研究シーズ : 有限要素法、回路方程式、開発した最適化手法を連成した駆動法。

研究者 : 石川赴夫 (群馬大学工学部 教授)

基になった R S P 活動 : 「高性能永久磁石型リニアモータの開発」 (育成試験 H 1 3 - 0 4)

企業 : 日本精工株式会社

製品 (技術) 概要 : 当初から共同研究を進めてきたが、細胞間相互作用システムである CD 4 7 - S H P S - 1 系が、細胞運動を抑制的に制御していること明らかにした。本研究より得られた成果から、がん治療等を目的とした創薬開発につなげる。

基になった研究シーズ : アミノ酸とオキシ酸からなるポリデプシペプチドをアミノ酸、オキシ酸の種類、配列順序の選択により任意の期間内で生体内で分解させることのできる材料として成型し、その内部に薬物を包含させ、材料の生分解期間の間、薬物を生体内に一定濃度で放出し続ける機能性材料の創製。

研究者 : 的崎尚 (群馬大学生体調節研究所 教授)

基になった R S P 活動 : 「細胞の増殖と接着の制御機構に関する新規シグナル分子の網羅的探索と創薬への応用」 (育成試験 H 1 4 - 0 8)

企業 : 株式会社医療探索研究所

製品 (技術) 概要 : セラミック水を使用した結果生じる副産物の活用としてコンニャクマンナンとめかぶ洗浄液の混合によるコンニャクゲルの物性の変化を素材化する。

基になった研究シーズ : 雑草菌など 4 種類の微生物の育成に対しセラミック処理水が与える影響を把握するための試験方法、

研究者 : 滝口強 (群馬産業技術センター 主席研究員)

基になった R S P 活動 : 「セラミック処理水を用いた機能性食品の開発」 (育成試験 H 1 4 - 0 6)

企業 : 某社

製品 (技術) 概要 : 金型、成形を事業とする当社は付加価値の高い素材をもちいた成形技術の開発を、共同で行ってきた。今回は粉末射出成形法を利用して金属/セラミックス系ハイブリッド耐熱材料を開発した。

基になった研究シーズ : ニッケルとアルミナの重量比あるいは体積比を変化させたハイブリッド材料の試作技術。

研究者 : 松原雅昭 (群馬大学 助教授)

基になったR S P活動	：「M I Mによる新素材の開発とその応用」（育成試験 H 1 4 - 0 1）
企業	：株式会社大西ライト工業所
製品（技術）概要	：企業との共同開発により、椅子からの起立動作をサポートする福祉装置の試作を完成した。
基になった研究シーズ	：福祉支援機器用途に適した動力ユニット開発
研究者	：久米原宏之（群馬大学 教授）、坂本正文（日本サーボ株式会社 技師長）
基になったR S P活動	：「高性能メカトロ要素の開発研究」（育成試験 H 1 5 - 1 1）
企業	：日本サーボ株式会社
製品（技術）概要	：協同研究中の太陽誘電株式会社の製品開発に技術移転し、「短波長レーザーを用いた高密度記録化」として特許出願されている。
基になった研究シーズ	：高屈折、高耐光の色素薄膜の探索とスピンコート法による色素薄膜の作製
研究者	：平塚浩士（群馬大学 教授）
基になったR S P活動	：「次世代光記録材料の開発研究」（育成試験 H 1 5 - 0 6）
企業	：太陽誘電株式会社
製品（技術）概要	：並列コンピュータによる高速演算アルゴリズムの研究により、光素子の光量バラツキの補正を行うためソフトウェアとして技術移転した。このソフトは生産ラインの中の試験機に組み込まれ、実用化された。
基になった研究シーズ	：組込みシステム= HW + SW (+ メカニズム) , 専用HWと専用SWの協調設計・開発
研究者	：白石洋一（群馬大学工学部 助教授）
基になったR S P活動	：「ハードウェア/ソフトウェア協調設計環境、および設計手法に関する研究」（育成試験 H 1 5 - 1 2）
企業	：株式会社沖データイメージング
製品（技術）概要	：製品化のための製造工程の開発はシマダ技研、鹿島エレクトロ産業で行われ、販売をワーテックが行う。商品名「桐生遮水シート」の商品名で販売する。平成16年4月からのサンプル出荷で価格は1平米1万円。
基になった研究シーズ	：二枚の不透水シートの上に格子状のシート（格子網）を挟み、格子網の上下面を上下のシートに接着し、この格子網の中に高分子吸収体を充填することを特徴とする遮水シート。
研究者	：長屋幸助（群馬大学 教授）
基になったR S P活動	：「デントライトとゴムシートを用いた無漏水廃棄物処分場の開発」（可能性試験 H 1 2）

企業	: 株式会社ワーテックス
製品（技術）概要	: 音響用樹脂製品の製造法。音響用樹脂製品の開発において、樹脂製品に気泡が混入して製品化が困難な状況だった。スプレーコーティング法により高分子架橋をする。これを数回繰り返して、所定の樹脂の厚さに加工する。この方法により、気泡の除去と生産の自動化が可能となる。
基になった研究シーズ	: 音響用樹脂製品の製造法
研究者	: 閑春夫（群馬大学名誉教授、代表科学技術コーディネータ）
基になったR S P活動	: マッチング活動（H16年度 16-16）
企業	: 電気化学工業株式会社

製品（技術）概要	: 産業廃棄物の有資源化。産業廃棄物が1日に200トン以上排出されており、廃棄物の輸送と処理（燃焼）に年間3.5億円以上の費用がかかる。これに対して、産業廃棄物を用いたコストの安い生分解性材料、高エネルギー炭等の社会的ニーズの高い製品化を企画した。
基になった研究シーズ	: 産業廃棄物の有資源化
研究者	: 閑春夫（群馬大学名誉教授、代表科学技術コーディネータ）
基になったR S P活動	: マッチング活動（H16年度 16-17）
企業	: 株式会社日本キャンパック群馬工場

製品（技術）概要	: ガラスレンズの黄色着色にカドミを使用しているが、有害物質であるため代替え方法に切り替える必要がある。関東電化株式会社が新製品開発した耐久性に富む塗料を発売に先駆けて紹介した。試作品による耐久性評価を実施中。
基になった研究シーズ	: 自動車用補助ランプの製造
研究者	: 閑春夫（群馬大学名誉教授、代表科学技術コーディネータ）
基になったR S P活動	: マッチング活動（H15年度 15-11）
企業	: アイ・ケイ・ケイ株式会社

製品（技術）概要	: 乾燥容器内側の金属壁面に食品廃棄物がこびりつかないようにしたい。表面形状の検討により完成に近づいていたが、うどんなど粘着性をもった廃棄物のこびりつきが残っていた。離型性をたかめるために、フッ素系反応性樹脂を金属表面に薄く塗装することを提案。食品廃棄物の付着しない製品の開発に成功した。現在は金属表面樹脂の耐久性の向上に取り組んでいる。
基になった研究シーズ	: 食品廃棄物乾燥処理機の開発（改良）
研究者	: 閑春夫（群馬大学名誉教授、代表科学技術コーディネータ）

基になったR S P活動	: マッチング活動 (H 1 4年度 1 4 - 0 1)
企業	: 株式会社神垣鉄工所
製品 (技術) 概要	: 排棄されたキャベツからホスホリパーゼを抽出し、健康食品に用いる。
基になった研究シーズ	: 食品レベルのホスホリパーゼDの調製
研究者	: 仁科淳良 (群馬産業技術センター 主任研究員)
基になったR S P活動	: 「キャベツのホスホリパーゼを用いた酵素リアクターの検討」 (育成試験H 1 5 - 0 4)
企業	: 雪国アグリ株式会社
製品 (技術) 概要	: ダイカストシュミレーション技術研究会において、業界のシュミレーション技術支援に活用している。
基になった研究シーズ	: ダイカスト品の湯流れダイカスト品の湯流れ・凝固解析
研究者	: 荻野雄一郎 (群馬産業技術センター 主任研究員)、安斎浩一 (東北大学 教授)
基になったR S P活動	: 「湯流れ・凝固解析技術を利用したダイカスト品の品質向上実用化技術研究」 (育成試験H 1 5 - 1 0)
企業	: ダイカストシュミレーション技術研究会
製品 (技術) 概要	: 化粧品材料として新しい機能を持つ紫外線吸収剤の実用化が進行している。
基になった研究シーズ	: オルトアミノアセトフェノン類の励起状態の近接効果に基づく速い無放射失活過程
研究者	: 飛田成史 (群馬大学工学部 教授)
基になったR S P活動	: 「新しい有機系紫外線吸収剤の開発」 (育成試験H 1 6 - 0 4)
企業	: 某社
製品 (技術) 概要	: 圧印加付の血液量計測による血液粘性特性評価システムを技術移転し、血液サラサラ度測定器としての開発実施中。
基になった研究シーズ	: 非観血的な血液特性評価として毛細血管中のヘモグロビン濃度の定量計測法
研究者	: 山越芳樹 (群馬大学工学部)
基になったR S P活動	: 「生体透過光による血液粘性評価に向けた基礎技術開発」 (育成試験H 1 7 - 0 1)
企業	: 日本精密測器株式会社
製品 (技術) 概要	: 不織布の抗菌加工について技術移転。(抗菌マスク、ガーゼ等に商品化)
基になった研究シーズ	: キダチアロエや貝殻粉末といった抗菌効果を有する天然物を用いた抗菌性繊維への吸着
研究者	: 恩田紘樹 (群馬県繊維工業試験場 技師)



基になった R S P 活動	： 「天然由来抗菌性物質の探索及び繊維加工への応用研究」 （育成試験 H 1 7 - 0 5）
企業	： 野口染色株式会社

製品（技術）概要	： ウレタン素材の抗菌加工を技術移転。（手すり、ハンドルの商品化）
基になった研究シーズ	： キダチアロエや貝殻粉末といった抗菌効果を有する天然物を用いた抗菌性繊維への吸着
研究者	： 恩田紘樹（群馬県繊維工業試験場）
基になった R S P 活動	： 「天然由来抗菌性物質の探索及び繊維加工への応用研究」 （育成試験 H 1 7 - 0 5）
企業	： 大東株式会社

製品（技術）概要	： ポリエチレンネットの抗菌加工を技術移転。
基になった研究シーズ	： キダチアロエや貝殻粉末といった抗菌効果を有する天然物を用いた抗菌性繊維への吸着
研究者	： 恩田紘樹（群馬県繊維工業試験場 技師）
基になった R S P 活動	： 「天然由来抗菌性物質の探索及び繊維加工への応用研究」 （育成試験 H 1 7 - 0 5）
企業	： 某社

製品（技術）概要	： 土壌成分濃度測定器の開発を平成 1 7 年度に共同研究で行い、測定の高精度化の研究が完了したので、平成 1 8 年度は試作機と P C 表示のソフト開発に注力することで実施中。
基になった研究シーズ	： 土壌成分濃度測定器の開発
研究者	： 横田正幸（群馬大学工学部 助手）
基になった R S P 活動	： 「高精度水分濃度光センサーの開発育成試験」 （H 1 4 - 0 3）
企業	： 有限会社 C B R アグリット群馬

製品（技術）概要	： 実験用試作測定器の実用化のためにマイクロ化した測定器の開発を実施中。
基になった研究シーズ	： 携帯用心拍測定器において生体移動中の測定信号から心拍信号のみを取り出すための除去アルゴリズムを開発
研究者	： 松本浩樹（前橋工科大学 講師）
基になった R S P 活動	： ウェアラブルな動的システム（生体を含む）の自動計測・制御技術の構築（育成試験 H 1 6 - 0 1）
企業	： 日本精密測器株式会社

製品（技術）概要	： インターロッキングブロックを開発し、足利工業大学の風と光の広場に設置した。
基になった研究シーズ	： フロン分解時に副生するスラッジをモルタルに混和した製品開発

研究者 : 依田彰彦 (足利工業大学 教授)  
基になった R S P 活動 : 「フロン分解時に副生するスラッジの建材への有効利用に関する研究」 (育成試験 H 1 3)  
企業 : マチダコーポレーション

製品 (技術) 概要 : レーザー光を用いて高密度記録化材料を開発して、I T 部品製造に展開中である。  
基になった研究シーズ : シアニン系の有機色素の探索  
研究者 : 平塚浩士 (群馬大学工学部 教授)  
基になった R S P 活動 : 「次世代光記録材料の開発研究」 (育成試験 H 1 5 - 0 6)  
企業 : 太陽誘電株式会社

製品 (技術) 概要 : 燃料電池部品として重要な導電性高分子膜を放射線法により開発した。  
基になった研究シーズ : 放射線の高温照射によりフッ素樹脂膜に架橋構造を付与、その膜を基材とした導電性膜を放射線グラフト重合法での合成  
研究者 : 吉田 勝 (日本原子力研究開発機構 研究室長)  
基になった R S P 活動 : 「導電性高分子素材の研究開発」 (育成試験 H 1 5 - 0 7)  
企業 : 日東電工株式会社

製品 (技術) 概要 : ドレブリン A 特異抗血清の商品化を検討中。  
基になった研究シーズ : ドレブリン A の機能解析  
研究者 : 白尾智明 (群馬大学医学部 教授)  
基になった R S P 活動 : 「老化神経細胞の機能再生」 (育成試験 H 1 6 - 0 9)  
企業 : 群馬大学研究推進部研究推進課

製品 (技術) 概要 : 機能化した多孔質体を用いて、高エネルギー密度を有する燃料電池を開発する。  
基になった研究シーズ : 流動層滴下供給熱分解法を用いて固体酸化物燃料電池の電極材料に適した導電性酸化物微粒子の製造  
研究者 : 中川紳好 (群馬大学工学部 教授)  
基になった R S P 活動 : 「燃料電池材料に適した複合微粒子材料の製造法の開発」 (育成試験 H 1 7 - 0 3)  
企業 : 某社

製品 (技術) 概要 : 桑屋マニファクチャリングと群馬県産業技術センターで能登谷教授の指導により、凍結乾燥板ノリを試作した。  
基になった研究シーズ : ノリ (アマノリ属) の室内培養による生育、繁殖特性の解明と増養殖技術の開発  
研究者 : 能登谷正浩 (東京海洋大学 教授)

基になった R S P 活動	： 「カワノリ養殖生産技術の開発」 （育成試験 H 1 7 - 0 9）
企業	： 有限会社桑屋マニファクチャリング

製品（技術）概要	： 企業に技術移転した。
基になった研究シーズ	： 放射線の高温照射によりフッ素樹脂膜に架橋構造を付与、その膜を基材とした導電性膜を放射線グラフト重合法での合成、メタノールを燃料とする固体高分子型燃料電池用の隔膜への応用。
研究者	： 吉田勝（日本原子力研究所高崎研究所 研究室長）
基になった R S P 活動	： 「導電性高分子素材の研究開発」 （育成試験 H 1 5 - 0 7）
企業	： 某社

## （２）商品化されたもの

実際に市販まで至っているもの。

商品名	： UVカットフィルム" T 1 - L 4 0 3 A " （一部に技術を活用）
商品概要	： ポリエチレンフィルムに紫外線吸収機能を付与しようとする場合、通常、有機系紫外線吸収剤および無機系紫外線吸収剤を添加したものにわけられます。弊社では有機系紫外線防止剤を添加したフィルムを特定ユーザーに供給していますが、有機系の添加剤はブリードアウトによる接着阻害や粉吹きによる加工機への汚染等が懸念され、ドライラミネート用としては扱えず、使用条件や用途にも数々の制限がありました。今回、それらの問題を解決するため、無機系添加剤を利用した紫外線防止フィルムを試作しました。これにより、ブリードアウトによる接着阻害は無く、また、ドライラミネート用としてコロナ放電処理付のフィルムも供給可能となります。
基になった研究シーズ	： 表面張力の高い、経時変化（退行）の少ない表面改善法
研究者	： 山本雄三（群馬大学工学部 助教授）、上原浩樹（群馬大学工学部 助手）
基になった R S P 活動	： 「水性インキ接着剤対応の表面改質包装資材開発」 （可能性試験 H 1 2 - 0 2）
企業	： タマポリ株式会社 加工研究所
販売実績	： （「ドライラミネート用コロナ放電処理付き」の販売量は確認困難。）

商品名	： 群馬 K A Z E 酵母
商品概要	： 清酒酵母の改良により選抜された 6 0 5 7 酵母は、実地醸造の結果、多くの酒造メーカーから支持を得手、愛称「群馬 K A Z E 酵母」と命名し、群馬県産酒の高品質化に貢献した。清酒の香味のうち、特に吟醸香に代表されるカプロン酸エチルを多く生産できる酵母出ある。カプロン酸エチル

	<p>は、洋ナシや青リンゴなどの果実に似た芳香を持つ。 「群馬K A Z E酵母」で吟醸酒を製造すると、清酒もろみ中に通常の2倍程度のカプロン酸エチルが生成される。一般には、カプロン酸エチルを多く生成する酵母は発酵力が弱い傾向があるが、「群馬K A Z E酵母」は比較的発酵力が弱いいため、香味の調和の良い酒ができる。</p>
基になった研究シーズ	: 清酒用新酵母6067株の改良研究
研究者	: 上山 修（群馬産業技術センター 主任研究員）、高橋仁恵（群馬産業技術センター 副主任研究員）
基になったR S P活動	: 「清酒用新酵母の特性と実用化研究」（可能性試験H12-12）
企業	: 群馬県酒造協同組合（群馬県内の酒造企業）
販売実績	: 群馬県酒造協同組合38社中平成13年度は23社、平成14年度は14社に採用された。 （伴内酒造の「稲のしずく」を始めとして多くの全国金賞を受賞しているが、K A Z E酵母を用いた銘柄に限った販売実績の統計はない）

商品名	: （遮水シート）
商品概要	: シートは厚さ3～4mmで、上から裏面に10cm四方の格子状態を持ったゴムシート、格子の中に充填した高分子吸収体（吸水ポリマー）、目の粗い吸水布、ゴムシートの4層構造で、穴があくと格子の中に入った水で吸収体が膨張すると同時に、吸水布の毛細管現象で周辺の格子まで水が円滑に伝わり、その中の吸収体も膨張する。複数の格子が互いの膨張力で支えあい、穴は完全にふさがれる仕組みのゴムシート。
基になった研究シーズ	: 二枚の不透水シートの間には格子状のシート（格子網）を挟み、格子網の上下面を上下のシートに接着し、この格子網の中に高分子吸収体を充填することを特徴とする遮水シート。
研究者	: 長屋幸助（群馬大学工学部 教授）
基になったR S P活動	: 「デントライトとゴムシートを用いた無漏水廃棄処分場の開発」（可能性試験H12-05）
企業	: 鹿島エレクトロ産業株式会社
販売実績	: 平成15年度から船舶用コンテナの防水用として出荷を開始した。（販売開始後間もないため、少量の出荷に留まっている様子）

商品名	: ウルトラクリーン容器
商品概要	: 半導体製造に使用される高純度ガスを充填する容器（ボンベ）は、内面の表面粗さが悪いと、パーティクル（小さなゴミや埃）が凹凸部に入り込み、純水洗浄や窒素洗浄でもとりきれず半導体製品の不良原因になるため、容器内面に、表面粗さが最大高さで1μm以下の超精密加工を行った。

基になった研究シーズ	： 「内面に付着しているパーティクルを除去する洗浄技術」 「内面の平滑化(加工)技術」
研究者	： 鈴木 実（カンサン株式会社）下田祐紀夫（群馬工業高等専門学校）
基になったR S P活動	： ① 「円筒容器内面の清浄化技術の開発研究」（育成試験 H 1 3 - 0 2） ② 「半導体ガス用圧力容器内面の超精密バレル研磨技術の開発」（可能性試験 H 1 1 - 1 4）
企業	： カンサン株式会社
販売実績	： 従来製品製造工程の中に技術導入され、製品改良が行われている。

商品名	： 「F c l e a r」（エフクリア）
商品概要	： 含フッ素共重合体の合成に成功し、H 1 7年2月に特許化（特許第3645678号）し、商品化した。
基になった研究シーズ	： 新規二重結合含有含フッ素共重合体とその製造法
研究者	： 閑春夫（群馬大学名誉教授、代表科学技術コーディネータ）
基になったR S P活動	： マッチング活動（No. 1 H 1 3 - 0 1）
企業	： 関東電化工業株式会社
販売実績	： 不明

商品名	： 廃プラスチックの油化装置
商品概要	： 廃棄されたプラスチックを400℃程度で加熱分解し、燃料油とする装置。 混入している塩化ビニル等の塩素成分の除去と、及び加熱により発生が懸念されるNOx対策として窒素の除去を行うようにした。
基になった研究シーズ	： 油中の塩素及び窒素の同時除去方法
研究者	： 秋元正道（新潟工科大学工学部 教授）
基になったR S P活動	： マッチング活動（No. 58 H 1 6 - 0 2）
企業	： 三峰工業株式会社
販売実績	： 平成17年6月10日に新製品発表会を開催した。（発表会の時点で商談中の案件あり）

商品名	： セイコーミラー製品
商品概要	： 樹脂のアンダーコーティング、銀ミラー加工、表面にフッ素系樹脂コーティングして携帯電話、電子機器等を製造。
基になった研究シーズ	： 表面コーティング技術
研究者	： 閑 春夫（群馬大学名誉教授、代表科学技術コーディネータ）
基になったR S P活動	： マッチング活動（No. 87 H 1 7 - 1 1）
企業	： セイコーレジン株式会社
販売実績	： 不明

商品名	: I T精密部品
商品概要	: 耐高熱、高強度樹脂による I T精密部品の製造。金属に代る高機能性 I T部品。
基になった研究シーズ	: 耐熱性樹脂及び製造法
研究者	: 閑 春夫 (群馬大学名誉教授、代表科学技術コーディネータ)
基になった R S P 活動	: マッチング活動 (No. 89 H17-13)
企業	: モダンプラスチック工業株式会社
販売実績	: 不明

商品名	: ナリヒラ鉢
商品概要	: 炭入り生分解性植木鉢。
基になった研究シーズ	: 炭化材料含有機能性分解材料 (木炭含有率 90% で水中投入後 2 分で崩壊する複合材。分解速度は調整可能。)
研究者	: 小島 昭 (群馬工業高等専門学校 教授)
基になった R S P 活動	: ナリヒラ鉢が先に商品化されていたので、逆にこの技術を農業用資材開発への応用として平成 17 年度「炭化材料含有機能性分解材料」の育成試験 H17-11 を行った。
企業	: 株式会社ナリヒラ
販売実績	: 不明

### (3) 起業化されたもの (ベンチャー企業等)

実際に会社設立まで至っているもの。

企業名	: 株式会社 リアライズ
企業概要	: ・群馬大学インキュベーション施設 308 室 ・群馬大学情報工学科による技術的バックアップ。 ・優秀な学生と海外の開発技術者の活用。 ・平成 17 年 7 月 1 日設立、資本金 1000 万円。
基になった研究シーズ	: 組み込みシステム開発、ソフトウェア開発
研究者	: 白石 洋一 (群馬大学工学部情報工学科 助教授)
基になった R S P 活動	: 「ハードウェア/ソフトウェア協調設計環境、及び設計手法に係る研究」 (育成試験 H15-12)
販売実績	: 無

企業名	: 株式会社 B M G
企業概要	: ・東北大学金属材料研究所井上明久所長、株式会社 B M G 取締役と共同設立 ・金属ガラスの加工技術で企業参加 ・平成 17 年 10 月設立、資本金 1200 万円
基になった研究シーズ	: 金属ガラス、ナノ結晶材料の開発と製造、装置の設計と製作

研究者	: 早乙女 泰典 (群馬大学大学院工学研究科 教授)
基になったR S P活動	: 「金属ガラスの超塑性成形加工によるマイクロギヤードモーターの開発」 (育成試験H 1 3 - 0 3)
販売実績	: 無

[目次に戻る](#) ・ [→三重県](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ③ 実用化・商品化・起業化された事例

#### 三重県

##### （1）実用化されたもの

技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販まで至っていないもの。

製品（技術）概要	： 多層膜熱処理による合金皮膜作製技術
基になった研究シーズ	： 熱過程によるすず－亜鉛多層膜からの高耐食性カドミウムフリー合金めっき
研究者	： 兼松秀行（鈴鹿工業高等専門学校、助教授）
基になったRSP活動	： 平成13年度育成試験
企業	： 株式会社ニューサンワ

製品（技術）概要	： リポソームワクチン
基になった研究シーズ	： ・リポソーム工学と遺伝子工学の融合による新規生物工学的技術の開発 ・効率的リポソームワクチン経口投与方法の開発による養殖魚介類疾防除方策の確立
研究者	： 宮崎照雄（三重大学生物資源学部、教授）、吉村哲郎（三重大学工学部、教授）
基になったRSP活動	： 平成13年度育成試験
企業	：

製品（技術）概要	： 根粒菌を保持させた多孔質素材
基になった研究シーズ	： 多孔質素材をマイクロハビタットとした農業微生物資材の開発
研究者	： 妹尾啓史（三重大学生物資源学部、助教授）
基になったRSP活動	： 平成13年度育成試験



企業 : 株式会社杉山コンテック

製品（技術）概要 : ポリアミン着果促進剤

基になった研究シーズ : 不良環境下における作物の着果促進剤としてのポリアミンの利用開発

研究者 : 橋昌司（三重大学生物資源学部、教授）

基になったR S P活動 : 平成13年度育成試験

企業 :

製品（技術）概要 : エクストルーダ・ペレット飼料

基になった研究シーズ : 食料廃棄物資源を利用した畜産飼料の開発

研究者 : 後藤正和（三重大学生物資源学部、教授）

基になったR S P活動 : 平成13年度育成試験

企業 : 株式会社地主共和商会

製品（技術）概要 : サypress材抽出物を日本産木材に減圧浸漬した木材

基になった研究シーズ : オーストラリア産サイプレス材抽出物の高度利用に関する研究

研究者 : 光永徹（三重大学生物資源学部、助教授）

基になったR S P活動 : 平成13年度育成試験

企業 : 株式会社小山商店

製品（技術）概要 : 大型藻類の光合成量を測定する機械

基になった研究シーズ : アマモ場造成技術に関する基礎研究

研究者 : 前川行幸（三重大学生物資源学部、教授）

基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験

企業 :

製品（技術）概要 : 黒ニンニクを使った粉末化カプセル

基になった研究シーズ : 生活習慣病の予防加工食品製造

研究者 : 田口寛（三重大学生物資源学部、教授）

基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験

企業 : 株式会社三健総合研究所

製品（技術）概要 : 黒ニンニクを使った添加物

基になった研究シーズ : 生活習慣病の予防加工食品製造

研究者 : 田口寛（三重大学生物資源学部、教授）

基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験

企業 : 株式会社三健総合研究所

製品（技術）概要 : エゾウコギエキスを錠剤化したもの

基になった研究シーズ : 有用生薬を用いたテラーメイド機能性食品の開発  
研究者 : 藤川隆彦 (三重大学医学部、講師)  
基になったR S P活動 : 平成15年育成試験  
企業 : 株式会社H I D、J A (販売先)

製品 (技術) 概要 : エゾウコギエキスのかきつけ  
基になった研究シーズ : 有用生薬を用いたテラーメイド機能性食品の開発  
研究者 : 藤川隆彦 (三重大学医学部、講師)  
基になったR S P活動 : 平成15年育成試験  
企業 : 株式会社H I D、東邦産業株式会社 (製造)、J A (販売先)

製品 (技術) 概要 : V L P を用いた経口投与ワクチン  
基になった研究シーズ : ウイルス様中空粒子 (V L P) を用いた経口ワクチン開発  
研究者 : 保富康宏 (三重大学医学部、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験  
企業 :

製品 (技術) 概要 : 適応変調M I M O - S C O F D M 通信方式  
基になった研究シーズ : 高速度無線L A Nシステム  
研究者 : 小林英雄 (三重大学工学部、教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験  
企業 : 株式会社K D D I 研究所

製品 (技術) 概要 : 小豆煮汁に含まれる血糖値上昇抑制物質 (添加物)  
基になった研究シーズ : 食品工場廃棄物の有効利用  
研究者 : 古市幸生 (三重大学生物資源学部、教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験  
企業 : 井村屋製菓株式会社

製品 (技術) 概要 : 異方性導電フィルム基材  
基になった研究シーズ : 異方性導電フィルムを用いたI Cチップ実装技術の開発  
研究者 : 江崎尚和 (鈴鹿工業高等専門学校、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験  
企業 : 有限会社ピアテック、三重電子株式会社、株式会社旭鍍金

製品 (技術) 概要 : 木粉を原料としたバインダーレス成型体 (小物入れ、写真立て)  
基になった研究シーズ : 木質廃材資源を活用したバインダーレス成型体の製造方法の開発  
研究者 : 岸久雄 (三重県科学技術振興センター林業研究部 主幹研究員)

基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験  
企業 : 有限会社レイガイアジャパン

製品(技術)概要 : 非小細胞肺癌検出用の抗MTAP抗体  
基になった研究シーズ : 核酸代謝酵素欠損症の診断と酵素欠損を標的とする選択的癌化学療法の開発  
研究者 : 登勉(三重大学医学部、教授)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験  
企業 : 協和メディクス株式会社

製品(技術)概要 : 腰椎不安定性測定器  
基になった研究シーズ : 腰椎不安定性測定器の開発 — 商品化に向けて—  
研究者 : 笠井裕一(三重大学医学部、講師)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験  
企業 : キスコDIR株式会社

製品(技術)概要 : 電気分解に用いるカーボンナノチューブを支持体とする電極およびフィルター  
基になった研究シーズ : 水質浄化用の電気分解電極材料の研究開発  
研究者 : 小海文夫(三重大学工学部)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験  
企業 : 富士電機リテイルシステムズ株式会社

製品(技術)概要 : 有機-無機ナノハイブリッド材料  
基になった研究シーズ : 有機-無機ナノハイブリッド材料の電気物性による耐熱性評価と複合化による機能化  
研究者 : 中村修平(三重大学工学部、教授)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験  
企業 : 鈴鹿富士ゼロックス株式会社

製品(技術)概要 : キチン結合能を持つ脂溶性ペプチド  
基になった研究シーズ : アマエビ表皮に存在するキチン結合能を持つ脂溶性タンパク質  
研究者 : 今井邦雄(三重大学生物資源学部、教授)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験  
企業 :

製品(技術)概要 : ナノオートマイクロインジェクション装置専用プレート  
基になった研究シーズ : ナノオートマイクロインジェクション装置の開発  
研究者 : 田丸浩(三重大学生物資源学部、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成16年度育成試験  
企業 : 株式会社東海工業所

製品（技術）概要	: ライフサイクルアセスメント（LCA）手法「LCA-NETS」
基になった研究シーズ	: 環境調和とコストを両立する製品設計エキスパートシステム
研究者	: 丸山直樹（三重大学工学部、助教授）
基になったRSP活動	: 平成17年度育成試験
企業	:

製品（技術）概要	: 在来構法木造住宅の耐震補強工法
基になった研究シーズ	: 在来構法木造住宅の耐震補強工法の開発研究
研究者	: 川口淳（三重大学工学部、助教授）
基になったRSP活動	: 平成17年度育成試験
企業	: 株式会社シルバーウッド、株式会社飯島建築事務所

製品（技術）概要	: 環状糖鎖単体の化学合成物質（3A-デオキシ-3A-[4-[ [3A-デオキシ-(2AS, 3AS)-シクロデキストリン-3A-イル] アミノ]-1,4-ジオキシペンチル] アミノ-(2AS, 3AS)-シクロデキストリン)
基になった研究シーズ	: 新規糖鎖を用いた薬物移動システムの開発
研究者	: 寺西克倫（三重大学生物資源学部、助教授）
基になったRSP活動	: 平成17年度育成試験
企業	: 東京化成工業株式会社

製品（技術）概要	: 環状糖鎖単体の化学合成物質（3A-アミノ-3A-デオキシ-ガンマ-シクロデキストリン)
基になった研究シーズ	: 新規糖鎖を用いた薬物移動システムの開発
研究者	: 寺西克倫（三重大学生物資源学部、助教授）
基になったRSP活動	: 平成17年度育成試験
企業	: 東京化成工業株式会社

製品（技術）概要	: 酵母サッカロミセス・セレビシエと酵母ピキア・アノマラ混合培養法を用いた清酒
基になった研究シーズ	: 酵母サッカロミセス・セレビシエと酵母ピキア・アノマラの異種間混合培養法を用いたアルコール飲料の製造
研究者	: 栗田修（三重県科学技術振興センター工業研究部 主幹研究員）
基になったRSP活動	: 平成17年度育成試験
企業	:

製品（技術）概要	: 酵母サッカロミセス・セレビシエと酵母ピキア・アノマラ混合培養法を用いたワイン
----------	--

基になった研究シーズ	:
研究者	: 栗田修 (三重県科学技術振興センター工業研究部 主幹研究員)
基になったR S P活動	: 平成17年度育成試験
企業	:

製品 (技術) 概要	: ゴマリグナン配糖体を用いた発現時間制御可能な抗酸化物質
基になった研究シーズ	: ゴマリグナン配糖体による生体内での発現時間制御可能な抗酸化物質の開発
研究者	: 勝崎裕隆 (三重大学生物資源学部、助教授)
基になったR S P活動	: 平成17年度育成試験
企業	:

## (2) 商品化されたもの

実際に市販まで至っているもの。

商品名	: B L O D Y 7
商品概要	: 血流速度などの血液の流動性を測定するディスプレイ・チャンバー測定チップ
基になった研究シーズ	: 1) 血液流動性測定装置の開発と血流改善薬剤の探索研究 2) Protein S (PS) の作用機構の解明とPS受容体の単離・同定 3) 血栓性疾患の発症にかかわるゲノム異常、ゲノム多型の検索 4) 血管新生に関与するプロテアーゼとその制御調節因子に関する基礎的研究
研究者	: 鈴木宏治 (三重大学医学部、教授)
基になったR S P活動	: 平成14年度育成試験
企業	: 株式会社エムシー研究所
販売実績	: 下記「エムシーファンHR300」と併せて2億9000万円 (平成16年度4月—17年3月)

商品名	: エムシーファンHR300
商品概要	: 血流速度などの血液の流動性を測定する装置
基になった研究シーズ	: 1) 血液流動性測定装置の開発と血流改善薬剤の探索研究 2) Protein S (PS) の作用機構の解明とPS受容体の単離・同定 3) 血栓性疾患の発症にかかわるゲノム異常、ゲノム多型の検索 4) 血管新生に関与するプロテアーゼとその制御調節因子に関する基礎的研究
研究者	: 鈴木宏治 (三重大学医学部、教授)
基になったR S P活動	: 平成14年度育成試験

企業	: 株式会社エムシー研究所
販売実績	: 上記「B L O D Y 7」と併せて2億9000万円（平成16年度4月—17年3月）

商品名	: ドデシルベンゼンスルホン酸（重合禁止剤）
商品概要	: スチレンの熱ラジカル重合に対する重合禁止剤
基になった研究シーズ	: 汎用モノマーに対する新規重合禁止剤の開発
研究者	: 富岡秀雄（三重大学工学部、教授）
基になったR S P活動	: 平成14年度育成試験
企業	: 伯東株式会社
販売実績	: 伯東株式会社が開示せず

商品名	: ClinicNet Nurse Scheduler
商品概要	: 看護師勤務表作成支援ツール
基になった研究シーズ	: 看護師スケジュールにおける制約条件を取り入れたコーディング方法に関する一考察
研究者	: 鶴岡信治（三重大学工学部、教授）
基になったR S P活動	: 平成14年度育成試験
企業	: 株式会社医用工学研究所
販売実績	:

商品名	: Zoster a Mat
商品概要	: アマモ造成基盤
基になった研究シーズ	:
研究者	: 前川行幸（三重大学生物資源学部、教授）
基になったR S P活動	: 平成14年度育成試験
企業	: ベニートヤマ株式会社
販売実績	: 年間売り上げ200万円程度

商品名	: 活力十倍黒ニンニク
商品概要	: 抗酸化力が生の10倍以上あるニンニク
基になった研究シーズ	: 生活習慣病の予防加工食品製造
研究者	: 田口寛（三重大学生物資源学部、教授）
基になったR S P活動	: 平成14年度試験
企業	: 株式会社三健総合研究所
販売実績	: 総売上8590万円

商品名	:
商品概要	: シャクヤクの抗菌性物質を布地に定着させた肌着
基になった研究シーズ	: 花き・花木中に含まれる生理活性物質の探索
研究者	: 生貝初（鈴鹿工業高等専門学校、教授）

基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験  
企業 : スズラン繊維加工株式会社  
販売実績 :

商品名 :  
商品概要 : シャクヤクの抗菌性物質を布地に定着させた学生服  
基になった研究シーズ : 花き・花木中に含まれる生理活性物質の探索  
研究者 : 生貝初 (鈴鹿工業高等専門学校、教授)  
基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験  
企業 : 東海オールセット株式会社  
販売実績 :

商品名 : V A S H  
商品概要 : エゾウコギを原料にした栄養補助食品  
基になった研究シーズ : 有用生薬を用いたテーラーメイド機能性食品の開発  
研究者 : 藤川隆彦 (三重大学医学部、講師)  
基になったR S P活動 : 平成15年育成試験  
企業 : 株式会社H I D、ヤクハン製薬株式会社  
販売実績 : 700個程度、売上700万円

商品名 : シゴカ  
商品概要 : 液性の国産エゾウコギエキス  
基になった研究シーズ : 有用生薬を用いたテーラーメイド機能性食品の開発  
研究者 : 藤川隆彦 (三重大学医学部、講師)  
基になったR S P活動 : 平成15年育成試験  
企業 : 株式会社H I D、ヤクハン製薬株式会社、ウエルネス  
販売実績 : 売上950万円

商品名 : R e d - C L A  
商品概要 : スーパーオキシドアニオンの発光 (赤色) 分析剤  
基になった研究シーズ : 分析用開発光試薬の開発  
研究者 : 寺西克倫 (三重大学生物資源学部、助教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験  
企業 : 東京化成工業株式会社  
販売実績 : 企業が開示せず

商品名 : G r e e n C h e m i l u m i n e s c e n t C D  
商品概要 : スーパーオキシドアニオンの発光 (緑色) 分析剤  
基になった研究シーズ : 分析用開発光試薬の開発  
研究者 : 寺西克倫 (三重大学生物資源学部、助教授)

基になった R S P 活動	: 平成 1 5 年度育成試験
企業	: 和光純薬工業株式会社
販売実績	: 企業が開示せず

商品名	:
商品概要	: エラスチンをコーティングした細胞培養用シャーレ
基になった研究シーズ	: 再生医療用エラスチンマトリックス材料の開発
研究者	: 宮本啓一（三重大学工学部、助教授）
基になった R S P 活動	: 平成 1 5 年度育成試験
企業	: 有限会社細胞外基質研究所
販売実績	: 7 0 個程度、7 0 万円程度

商品名	: Mono-2-O-(p-toluenesulfonyl)- 二-cyclodextrin
商品概要	: 環状糖鎖単体の化学合成物質
基になった研究 シーズ	: 新規糖鎖を用いた薬物移動システムの開発
研究者	: 寺西克倫（三重大学生物資源学部、助教授）
基になった R S P 活動	: 平成 1 7 年度育成試験
企業	: 東京化成工業株式会社
販売実績	: 企業が開示せず

商品名	: 3A-Amino-3A-deoxy-(2AS, 3AS)-二-cyclodextrin
商品概要	: 環状糖鎖単体の化学合成物質
基になった研究シーズ	: 新規糖鎖を用いた薬物移動システムの開発
研究者	: 寺西克倫（三重大学生物資源学部、助教授）
基になった R S P 活動	: 平成 1 7 年度育成試験
企業	: 東京化成工業株式会社
販売実績	: 企業が開示せず

### (3) 起業化されたもの（ベンチャー企業等）

実際に会社設立まで至っているもの。

企業名	: 株式会社 医用工学研究所
企業概要	: ・病院情報分析システムの研究・開発・販売 ・各種医療・福祉支援システムの研究・開発 ・病院内物流システムの研究・開発 (育成試験で開発した自動勤務作成システムを改良して販売)



基になった研究シーズ	: 看護師スケジュールにおける制約条件を取り入れたコーディング方法に関する一考察
研究者	: 鶴岡信治（三重大学工学部、教授）
基になったR S P活動	: 平成14年度育成試験
販売実績	: 企業が開示せず

企業名	: 株式会社H I D
企業概要	: ・研究成果から得られたエビデンスをベースに既に機能性食品を開発し、健康食品販売会社へ供給する。 ・製薬会社及び健康食品製造会社から研究の受託
基になった研究シーズ	: 有用生薬を用いたテラーメイド機能性食品の開発
研究者	: 藤川隆彦（三重大学医学部、講師）
基になったR S P活動	: 平成15年度育成試験
販売実績	: ・「VASH」700個程度、売上700万円 ・「シゴカ」売上950万円 ・製薬会社の医薬品開発及び食品会社の健康食品開発（受託研究）：1020万円

企業名	: 有限会社細胞外基質研究所
企業概要	: 研究者の研究シーズから発明された素材（エラスチン、エラスチンをコーディングしたシャーレ等）の生産・販売を行う
基になった研究シーズ	: 再生医療用エラスチンマトリックス材料の開発
研究者	: 宮本啓一（三重大学工学部、助教授）
基になったR S P活動	: 平成15年度育成試験
販売実績	: 70個程度、70万円程度

企業名	: 株式会社リポソーム工学研究所
企業概要	: ・リポソーム製造装置開発・販売 ・リポソームを使った自己免疫疾患（バゼド病等）の診断薬開発・販売 ・リポソームを使ったドラッグデリバリーシステムの薬開発・販売
基になった研究シーズ	: リポソーム工学と遺伝子工学の融合による新規生物工学的技術の開発
研究者	: 吉村哲郎（三重大学工学部、教授）
基になったR S P活動	: 平成13年度育成試験
販売実績	: ここ2～3年間は研究開発に専念

[目次に戻る](#) ・ [→高知県](#)

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ③ 実用化・商品化・起業化された事例

#### 高知県

##### （1）実用化されたもの

技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販まで至っていないもの。

製品（技術）概要	： 海洋深層水の食品への利用
基になった研究シーズ	： 膜分離により成分調整された海洋深層水の食品利用技術の開発
研究者	： 北村 有里（高知県工業技術センター、主任研究員）
基になったRSP活動	： 平成13年度育成試験
企業	： 株式会社けんかま、有限会社岡村蒲鉾（ほか）

製品（技術）概要	： 高性能ナノダイヤモンド電子エミッタの室温形成法
基になった研究シーズ	： ナノダイヤモンド電子エミッタの室温形成法の開発
研究者	： 平木 昭夫（高知工科大学、教授）
基になったRSP活動	： 平成13年度育成試験
企業	： 株式会社高知ダイヤモンド研究所

製品（技術）概要	： 景観映像情報3次元圧縮処理・案内表示システム
基になった研究シーズ	： 3次元画像の情報圧縮・超軽量化技術の開発
研究者	： 王 硯玉（高知工科大学、教授）
基になったRSP活動	： 平成13年度育成試験
企業	： 株式会社コンピュータイメージ研究所

製品（技術）概要	： リハビリり歩行機
基になった研究シーズ	： 転倒防止した全方向へ移動可能な自立歩行訓練機

研究者	: 王 硯玉 (高知工科大学、教授)
基になったR S P活動	: 平成14年度育成試験
企業	: 相愛株式会社

製品(技術)概要	: 便座と車椅子間の回旋移乗式自動介助装置
基になった研究シーズ	: 便座と車椅子間の回転移乗式自動介助装置の開発
研究者	: 横川 明 (高知工科大学、教授)
基になったR S P活動	: 平成13年度育成試験
企業	: ツカサ重機株式会社、オリバー

製品(技術)概要	: 食餌摂取量の自動計測
基になった研究シーズ	: 食事摂取量を画像処理により自動計測し最適給食を可能とする高機能療養システムの開発
研究者	: 竹田 史章 (高知工科大学、教授)、安房田 司郎 (高知学園短期大学、教授)
基になったR S P活動	: 平成15年度育成試験
企業	: 株式会社ニューラルシステムズ

製品(技術)概要	: サケ・マス冷水病経口ワクチン
基になった研究シーズ	: 激増するアユ、サケ科魚類の冷水病対策経口ワクチンの開発
研究者	: 大嶋 俊一郎 (高知大学、教授)
基になったR S P活動	: 平成15年度育成試験
企業	: 川崎三鷹製薬株式会社

製品(技術)概要	: 模様修飾した水流交絡法による不織布の製造方法
基になった研究シーズ	: 模様修飾した水流交絡法による次世代不織布の開発
研究者	: 田村 愛理 (高知県紙産業技術センター、主任研究員)
基になったR S P活動	: 平成15年度育成試験
企業	:

製品(技術)概要	: ネットワークプロセッサ
基になった研究シーズ	: 独立同期データ駆動型省電力・超高速ネットワーク・プロセッサに関する開発
研究者	: 岩田 誠 (高知工科大学、教授)
基になったR S P活動	: 平成15年度シーズ調査
企業	: シャープ

## (2) 商品化されたもの

実際に市販まで至っているもの。

商品名	: 四万十スジアオノリ
商品概要	: 海洋深層水を用いて安価で安定的に大量培養を行ったアオノリ
基になった研究シーズ	: 海洋深層水による藻類の培養および利用技術に関する研究 - 海洋深層水による海藻の大量培養システムの開発
研究者	: 大野 正夫 (高知大学農学部、教授)
基になったR S P活動	: 平成13年度、14年度育成試験
企業	: 高岡漁業協同組合
販売実績	: 33kg、40万円

商品名	: 優しい日本酒リキュール「ゆず酒」
商品概要	: 水溶性で免疫賦活作用をもつβグルカンを利用した低アルコール日本酒リキュール
基になった研究シーズ	: 微生物酵素による高βグルカン含有真菌類の加工と定量に関する調査
研究者	: 永田 信治 (高知大学、教授)
基になったR S P活動	: 平成14年度育成試験
企業	: 高木酒造株式会社
販売実績	: 500ml ; 12千本、300ml ; 4千本 700万円

商品名	: βグルカンのやさしいゆず酒
商品概要	: 特定保健食品として抗癌作用等が知られているβグルカンを含むゆずを用いた清酒
基になった研究シーズ	: 微生物酵素による高βグルカン含有真菌類の加工と定量に関する調査
研究者	: 永田 信治 (高知大学、教授)
基になったR S P活動	: 平成14年度
企業	: 高木酒造株式会社、株式会社ソフィー
販売実績	: 約500万円/年

商品名	: 油分解シート「グリストラップ浄化バイオシート」
商品概要	: 微生物を紙・不織布に担持した廃水浄化シート
基になった研究シーズ	: 天然物由来の加工薬品を用いた紙・不織布加工技術の研究
研究者	: 森澤 純 (高知県紙産業振興センター、主任研究員)
基になったR S P活動	: 平成16年度育成試験
企業	: 株式会社C P R
販売実績	:

商品名	: 「ととシート」、「よつばシート」
商品概要	: 加工薬剤に用いることのできる各種の天然ポリマー成分を探索し化学修飾を施して改質し、塗工剤、被膜剤、接着剤等として紙・不織布に使用した商品。前者は生鮮食料品の

	鮮度保持、後者は医療用の抗菌作用の働きがある。
基になった研究シーズ	: 天然物由来の加工薬品を用いた紙・不織布加工技術の研究
研究者	: 森澤 純（高知県紙産業振興センター、主任研究員）
基になったR S P活動	: 平成16年度育成試験
企業	: くじらハウス株式会社
販売実績	:

商品名	: 天然酵母を用いたパン
商品概要	: 自然界からパン発酵に適した酵母を検索して製造した、風味豊かなパン
基になった研究シーズ	: 黒潮圏に生息する有用酵母の探索と新たな発酵食品の開発
研究者	: 永田 信治（高知大学、教授）
基になったR S P活動	: 平成17年度育成試験
企業	: ペロリ
販売実績	:

### (3) 起業化されたもの（ベンチャー企業等）

実際に会社設立まで至っているもの。

企業名	: 株式会社アークリエイト
企業概要	: 建築鉄骨等について特許工法を普及させる。建築鉄骨製作の品質管理、技術指導等。特許工法の認定・更新業務、建築構造物関係の問題処理を行う。平成15年1月6日設立
基になった研究シーズ	: 高耐震性建築鉄骨製作法に関する調査
研究者	: 内田 昌克（高知大学、教授）
基になったR S P活動	: 平成13年度育成試験
販売実績	: 平成15年度 建築戸数8棟・750万円、16年度 4,000万円

企業名	: 株式会社ニューラルシステムズ
企業概要	: 画像認識装置の開発販売、患者などの栄養管理システムの開発販売等。平成15年4月23日設立
基になった研究シーズ	: 食事摂取量を画像処理により自動計測し最適給食を可能とする高機能療養システムの開発
研究者	: 竹田 史章（高知工科大学、教授）
基になったR S P活動	: 平成15年度育成試験
販売実績	: なし

企業名	: 株式会社日本エコロノミックス
企業概要	: デンプン、コンニャク等の多糖類の生産及び用途開発に関する特許・ノウハウの情報提供サービス業。平成15年3月3日設立

基になった研究シーズ : 藻多糖と廃パルプを利用した簡易浄水剤の開発  
研究者 : 向畑 恭男 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成13年度育成試験  
販売実績 : 知的コンサルタント 1件、コンサルタント契約 1件

企業名 : 有限会社ヒューマンテクノロジー研究所  
企業概要 : 自動制御、ロボット、福祉機器に関する研究及びノウハウの提供。平成15年3月12日設立  
基になった研究シーズ : 転倒防止できる全方向型歩行訓練機  
研究者 : 王 硯玉 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成14年度育成試験  
販売実績 : なし

企業名 : 株式会社ダイヤライトジャパン  
企業概要 : エミッターランプの開発研究・製造・販売。平成16年4月5日設立。  
基になった研究シーズ : ナノダイヤモンド電子エミッタの室温形成法の開発  
研究者 : 平木 昭夫 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : H13年度育成試験  
販売実績 :

企業名 : 有限会社知能システム開発  
企業概要 : パターン認識技術を応用して、物体(体型、顔、指紋、米もみ、魚、料理など)や模様(紙幣、貨幣など)、物理量(音声や騒音ほか)を判定して区別、選別、状況判定に利用する技術開発を行、技術・ノウハウの販売を行う。平成17年11月9日設立。  
基になった研究シーズ : 食事摂取量を画像処理により自動計測し最適給食を可能とする高機能療養システムの開発  
研究者 : 竹田 史章 (高知工科大学、教授)  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験  
販売実績 :

[目次に戻る](#) ・ [→熊本県](#)

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域研究開発促進拠点支援（RSP）事業 （研究成果育成型）

### 平成17年度終了地域事後評価報告書

平成18年6月

科学技術振興機構 地域振興事業評価委員会

## 5. 活動実績（各地域より提出された事業終了報告書をもとに事務局作成）

### （2）地域ごとの活動実績

#### ③ 実用化・商品化・起業化された事例

#### 熊本県

##### （1）実用化されたもの

技術的には商品化するまでに至っているが、販売等何らかの課題があるため、市販まで至っていないもの。

製品（技術）概要	： マイクロバブル発生装置
基になった研究シーズ	： 流体力学によるマイクロバブル発生技術
研究者	： 佐田 富道雄 熊本大学教授
基になったRSP活動	： 新製造分野に関するコーディネート活動
企業	： 西田鉄工株式会社

製品（技術）概要	： 大口径フラットモータによる洗浄装置
基になった研究シーズ	： 磁気浮上リニアモータ及び空気浮上式モータ
研究者	： 山口仁崇城大学教授 柿木稔男崇城大学助手
基になったRSP活動	： 平成13年度育成試験「中空大口径薄型磁気軸受けモータのシステム概念の確立」 平成14年度育成試験「リング状リニアモータの構造最適化の研究」 平成15年度育成試験「リング状リニアモータの高速回転実証実験」
企業	： 半導体機器メーカー

製品（技術）概要	： 大豆煮汁からの醸造酢
基になった研究シーズ	： 大豆煮汁の発酵技術
研究者	： 森村 茂 熊本大学教授
基になったRSP活動	： 平成14年度育成試験「大豆煮汁からの有用食品の製造」
企業	： フンドーダイ株式会社

製品（技術）概要	: 誤嚥防止装置
基になった研究シーズ	: 嚥下運動に関する医学的知見
研究者	: 村山 伸樹 熊本大学教授
基になったR S P活動	: 平成15年度育成試験「誤嚥防止システムの開発」
企業	: オオクマ電子株式会社

製品（技術）概要	: 三原色マイクロビーズ
基になった研究シーズ	: ナノセルロース製造技術
研究者	: 伊原 博隆 熊本大学教授
基になったR S P活動	: 平成16年度育成試験「三原色光触媒／カーボン複合マイクロビーズの開発」
企業	: 九州イノアック株式会社

## (2) 商品化されたもの

実際に市販まで至っているもの。

商品名	: 紫イモを原料とした醸造酒「パープル」
商品概要	: アントシアニンを含む健康酒
基になった研究シーズ	: 紫イモの発酵技術
研究者	: 大庭 理一郎 崇城大学教授
基になったR S P活動	: ライフサイエンスに関するコーディネート活動
企業	: 千代の園酒造株式会社
販売実績	: 約1400万円

商品名	: エンドトキシン除去剤：ETクリーン
商品概要	: ワクチン製造過程でのエンドトキシン除去
基になった研究シーズ	: 高分子微粒子吸着剤を用いたLPS・核酸の選択的除去技術
研究者	: 平山忠一熊大教授、荒木真砂代熊大助手他
基になったR S P活動	: ライフサイエンス分野のコーディネート活動を通じたマッチングファンド事業への採択及び産業技術研究助成事業への採択
企業	: チッソ株式会社
販売実績	: 約400万円

商品名	: 耐熱性金コーティングガラス（熱輻射炉）
商品概要	: 半透明金コーティングの熱線遮蔽効果を利用した加熱装置
基になった研究シーズ	: 熱流体解析技術及びガラス面への金コーティング技術
研究者	: 古嶋薫 八代工業高等専門学校助教授
基になったR S P活動	: 平成15年度育成試験「輻射平衡炉の熱・流体的研究」及びその後のコーディネート活動



企業	: 有限会社熊本熱学
販売実績	: 約500万円

商品名	: pTS-1 for SUMO modification他
商品概要	: SUMO蛋白に有用蛋白を重合させた新規蛋白質
基になった研究シーズ	: 配列制御複合酵素ポリマー作成技術
研究者	: 斉藤 寿仁 熊本大学助教授
基になったRSP活動	: 平成15年度育成試験「配列制御複合酵素ポリマーによる高感度バイオセンサー開発」
企業	: 日本製粉株式会社
販売実績	: 約12万円

商品名	: GANP 遺伝子マウス
商品概要	: 各種抗原に対し親和性の高い抗体を作出する遺伝子改変マウス
基になった研究シーズ	: 遺伝子改変マウス作成技術、抗体作製技術
研究者	: 坂口 薫雄 熊本大学教授
基になったRSP活動	: ライフサイエンス分野のコーディネート活動を通じたマッチングファンド事業への採択
企業	: 株式会社トランスジェニック、株式会社イムノキック
販売実績	: 数千万円

### (3) 起業化されたもの（ベンチャー企業等）

実際に会社設立まで至っているもの。

企業名	: 株式会社ユージン
企業概要	: トランスジェニックマウスの作成・評価・供給事業
基になった研究シーズ	: 可変型遺伝子トラップ法による多種多様なトランスジェニックマウスの作成技術
研究者	: 山村 研一 熊本大学教授
基になったRSP活動	: 平成11年度プレベンチャー事業に関連するコーディネート活動
販売実績	: 株式会社トランスジェニックに合併

企業名	: 有限会社服部エスエスティ
企業概要	: スッポン甲羅粉末などの製品化（嚥下剤としてポルフィランの利用を検討）
基になった研究シーズ	: 微細粉末加工技術
研究者	: 坂本 卓 八代工業高等専門学校教授
基になったRSP活動	: 平成13年度育成試験「海藻ノリ中の機能性有効成分の抽出・精製法の開発」に関連する平成14～15年度のライ

フサイエンス関係コーディネート活動  
販売実績 : 甲羅粉末としては未だゼロ

企業名 : 有限会社熊本熱学  
企業概要 : 地場企業のイワサキ技研株式会社を中心に設立、耐熱性金コーティングガラスを用いた炉の製造販売  
基になった研究シーズ : 熱流体解析技術及びガラス面への金コーティング技術  
研究者 : 古嶋薫 八代工業高等専門学校助教授  
基になったR S P活動 : 平成15年度育成試験「輻射平衡炉の熱・流体的研究」及びその後のコーディネート活動  
販売実績 : 約500万円

企業名 : 株式会社イムノキック  
企業概要 : 株式会社トランスジェニックから分社した形式、GANP遺伝子マウス及び抗体の製造販売  
基になった研究シーズ : GANP遺伝子マウスの作製技術  
研究者 : 坂口 薫雄 熊本大学教授  
基になったR S P活動 : ライフサイエンス分野のコーディネート活動を通じたマッチングファンド事業への採択  
販売実績 : 試供品提供中

[目次に戻る](#)

---

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).

## 地域振興事業評価委員会委員名簿 (平成18年5月現在)

氏名	所属
別府 輝彦 (委員長)	日本大学 生物資源科学部 教授
岩瀬 明	岩手大学 工学部 教授
石浦 章一	東京大学大学院 総合文化研究科 教授
大泊 巖	早稲田大学 理工学術院 教授
金井 一頼	大阪大学大学院 経済学研究科 教授
小林 健	日本政策投資銀行 新産業創造部長
小松 一彦	NTTアドバンステクノロジー株式会社 先端技術事業本部 統括部長
桜井 靖久	東京女子医科大学 名誉教授
鈴木 衛士	日研化学株式会社 顧問
豊玉 英樹	スタンレー電気株式会社 執行役員
野長瀬 裕二	山形大学大学院 理工学研究科 教授
前田 正史	東京大学 生産技術研究所 所長
吉田 豊信	東京大学大学院 工学研究科 教授
渡辺 公綱	独立行政法人 産業技術総合研究所 生物情報解析研究センター長
渡辺 正孝	慶應義塾大学 環境情報学部 教授
小原 満穂	独立行政法人 科学技術振興機構 審議役

[目次に戻る](#)

This page updated on Jun. 28, 2006

Copyright©2006 [Japan Science and Technology Agency](#).